

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成23年9月20日(火) 11:00～12:00

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 東日本大震災 被災者の検定料を免除します。
2. 平成24年度 学生募集要項を公表します。
3. 快挙！大学院理工学研究科 井上 隆 教授が内閣総理大臣賞受賞
4. 初開催！ ホームカミングデイ in 小白川キャンパス
5. 科学で 東北を 盛り上げ 隊！ @石巻
6. 午後のひととき 最先端にふれてみませんか？『午後のサイエンス』
7. 文部科学省・山形大学 共同イベント『大学は美味しい！！ in 文部科学省』

お 知 ら せ

1. 国際事業化研究センター『省エネ手法を活用したコストダウンセミナー』
2. 医学部公開講座『ここまで分かった認知症～診断、治療、ケアのポイント～』
3. 工学部『リサイクルアート親子教室！』
4. 地域教育文化学部公開講座『日本刀鑑賞のための基礎知識』
5. 地域教育文化学部公開講座『家族で楽しむための理科教室』
6. 工学部『吾妻祭』
7. 工学部『ホームカミングデイ』
8. 工学部『第11回クラシックコンサート』
9. 工学部『米沢バイオ公開セミナー』
10. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』(10月分)
11. 大学コンソーシアムやまがた『合同企業説明会』

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成23年10月4日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

プレス発表資料

平成 23 年 9 月 20 日
山 形 大 学

東日本大震災 被災者の検定料を免除します。

東日本大震災により被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。山形大学では、東日本大震災で被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、検定料免除の特別措置を講じます。

1 免除対象となる入学者選抜試験

本学が実施する平成 24 年度学部入学者選抜試験（一般入試、AO入試、推薦入試、社会人入試及び私費外国人留学生入試を対象。）とします。

2 対象者

平成 24 年 4 月に本学の学部に入学者を志願する方で、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により被災し、次のいずれかに該当される方を対象とします。

- (1) 志願者の学資を主として負担する者が震災に際して災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）が適用された次の市町村（東京都を除く。）に居住（平成 23 年 3 月 11 日において当該市町村に居住していた者を含む。）し、家屋等が全壊、大規模半壊又は半壊の被害を受けた者

岩手県、宮城県、福島県の全市町村

青森県、茨城県、栃木県、千葉県災害救助法適用市町村

- (2) 学資負担者が震災により死亡又は行方不明の者
- (3) 学資負担者が震災により失職した者
- (4) 居住地が福島第一原子力発電所の事故により、警戒区域又は計画的避難区域に指定された者

3 申請の方法

免除を希望される方は、申請前に末尾に記載の「エンロールメント・マネジメント部政策課」に連絡し、確認を受けた上で、申請期限（必着）までに、申請書類を同じ「エンロールメント・マネジメント部政策課」宛てに提出してください。

なお、提出に当たっては、封筒の表に「入学検定料免除申請書在中」と朱書きし、返信用封筒（長 3 封筒、80 円切手貼付、住所・氏名記入）を同封してください。

4 申請期限（必着）

- 社会人入試 … 平成 23 年 10 月 13 日（木）
- 推薦入試Ⅰ及び推薦入試Ⅱ（医学科のみ） … 平成 23 年 10 月 20 日（木）
- 推薦入試Ⅱ（医学科を除く）及び私費外国人留学生入試 … 平成 24 年 1 月 5 日（木）
- 一般入試（前期日程・後期日程） … 平成 24 年 1 月 19 日（木）

5 申請書類

- (1) 入学検定料免除申請書（本学ホームページからダウンロードしてください。）
- (2) 市町村長が発行するり災証明書又は被災証明書（対象者の(1)又は(4)に該当する方）
- (3) 学資負担者の死亡等を証明する書類（対象者の(2)に該当する方）
- (4) 学資負担者の失職を証明する書類及び雇用保険受給証明書の写し（対象者の(3)に該当する方）

6 許可又は不許可の通知

- (1) 許可された方には、出願受付期間前までに「決定通知書」を送付いたします。願書の提出に当たっては検定料を納付せず、送付された「決定通知書」を添えて提出してください。
- (2) 不許可の方には、出願受付期間前までに別途通知いたします。願書の提出に当たっては、検定料を納付の上、必要な手続きをしてください。
なお、検定料の納付がない方の当該入学者選抜に係る出願は、これを受理しません。

7 その他

- (1) 諸事情により、申請期限までに申請書類の(2)から(4)までの該当書類が提出できない場合は、一旦検定料を納付した上で、願書を提出してください。
なお、平成 24 年 3 月 31 日までに当該書類を提出し検定料の免除を許可された場合には、検定料の返還手続きをした上で、当該検定料相当額を返還することになります。
- (2) 検定料の免除を許可された方が、免除を受けるために虚偽の申請をした場合は、許可の日に遡ってこれを取り消します。その場合は、直ちに検定料を納付してください。
- (3) 本年度において、出願受付がすでに終了した「AO入試」については、該当県から出願された方に対して、本学から別途連絡することにしております。
- (4) 本件に関し、不明の点等がありましたら、下記にお問い合わせください。

本件の提出先及びお問い合わせ先：

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

山形大学エンロールメント・マネジメント部

政策課（担当：政策課副課長）

TEL：023-628-4062 / FAX：023-628-4185

プレス発表資料

平成23年9月20日
山形大学

平成24年度 学生募集要項を公表します。

平成24年度「推薦入試学生募集要項」、「私費外国人留学生学生募集要項」及び「社会人入試学生募集要項」を公表します。

I 平成23年度入学者選抜との主な変更点

1 大学入試センター試験を課す推薦入試における大学入試センター試験の成績利用方法の変更
受験者の公平性を確保するため、大学入試センター試験における「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」の成績利用方法について、以下のとおり取り扱います。

- ① 「地理歴史」及び「公民」において、2科目を受験した場合の取り扱いについては、受験を要する科目数を1科目と指定している場合、第1解答科目の成績を利用する。
- ② 「理科」において、2科目を受験した場合の取り扱いについては、受験を要する科目数を1科目と指定している場合、第1解答科目の成績を利用する。

利用方法の詳細については、推薦入学募集要項で確認してください。

2 入学者選抜実施教科・科目等の主な変更点

大学入試センター試験を課す推薦入試

○ 各学部(共通)

前期日程、後期日程及び推薦入試(一部を除く。)

大学入試センター試験「公民」において、『倫理、政治・経済』(新規出題科目)を利用科目に加える。

変更理由:「公民」における受験生の科目の選択肢を広げることとしたため。

※ 地域教育文化学部学科等改組後の地域教育文化学科各コースの入学者選抜方法、実施教科・科目、募集人員等については、改組前の学科・コースの入学者選抜方法、実施教科・科目、募集人員等で実施しますので、前年度と変更はありません。詳細については、各募集要項でご確認ください。

3 募集人員の変更

推薦入試 5人減(328人 → 323人)

内訳

1) 地域教育文化学部

推薦入試 6人減(昨年度 56人 → 50人)

2) 理学部

推薦入試 1人増(昨年度 39人 → 40人)

II 募集要項等の入手方法

「推薦入試学生募集要項」及び「私費外国人留学生学生募集要項」は本学ホームページで請求いただけます。また、本学インフォメーションセンター又は各学部入試担当窓口でも配布しております。社会人入試学生募集要項は、冊子を作成しておりませんので、本学ホームページから直接ダウンロードしてください。

(URL <http://www.yamagata-u.ac.jp/jpn/entrance/index.html>)

(本件に関するお問い合わせ先)

エンロールメント・マネジメント部政策課 (入試担当) 今野

(TEL) 023-628-4141

平成 23 年 9 月 20 日
山 形 大 学

快挙！大学院理工学研究科 井上 隆 教授が内閣総理大臣賞受賞

大学院理工学研究科 井上 隆 教授が、第 10 回産学官連携推進会議において、産学官連携功労者表彰の最高賞「内閣総理大臣賞」を受賞します。

◇『受賞式』 日 時：平成 23 年 9 月 22 日（木）13：30～15：00
場 所：東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内）

◇井上教授は、日立化成工業(株)と連携して、多層化が進む半導体チップの接着に不可欠な超薄型フィルム状接着剤「ダイボンディングフィルム」の高機能化を実現しました。

◇開発された「ダイボンディングフィルム」は、柔軟性に優れるアクリルポリマと接着性に優れるエポキシ樹脂とをナノレベルで制御することにより、薄さと高い柔軟性および接着信頼性を同時に実現し、半導体の高集積化に寄与しています。

◇この技術は、半導体積層技術のデファクトスタンダードとなっており、世界シェアの約 70%を占めていることが極めて高く評価されました。

◇受賞テーマ、受賞者、受賞理由は、別紙のとおりです。

※産学官連携推進会議：

産学官連携の飛躍的推進に向けた具体的な課題の解決に資するため、第一線のリーダーや実務経験者等を中心に、具体的な課題についての研究協議、技術移転、情報交換、対話・交流等を行います。この会議により産学官連携の実質的かつ着実な親展を図り、新技術・新産業の創出を加速していきます。

※産学官連携功労者表彰：

大学、公的研究機関、企業等の産学官連携活動において、大きな成果を収め、また、先導的な取組を行う等、産学官連携の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関し、その功績を称えることにより、我が国の産学官連携の更なる進展に寄与することを目的とし、平成 15 年度より毎年一回行われているもので、今回が 9 回目となります。

(お問い合わせ)

山形大学総務部広報室

(TEL) 023-628-4005

内閣総理大臣賞

電子機器の小型化・大容量化を可能とする半導体接着技術

～ダイボンディングフィルムの開発～

井上 隆

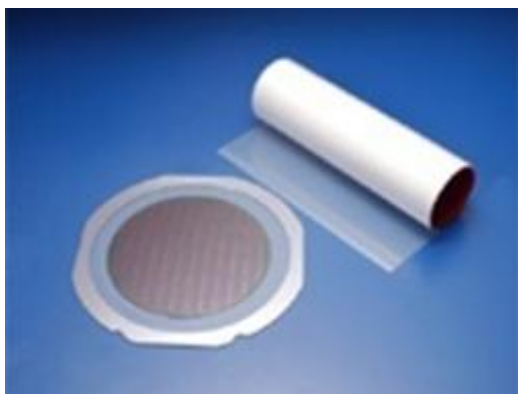
山形大学大学院理工学研究科機能高分子工学専攻 客員教授（東京工業大学 名誉教授）

稲田 禎一

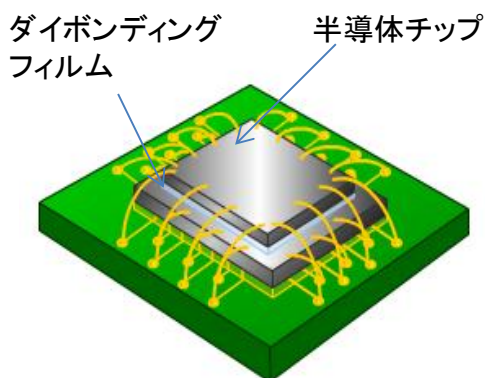
日立化成工業株式会社筑波総合研究所 基盤技術開発センター 主管研究員

受賞理由

日立化成工業は山形大学の井上教授と連携し、多層化が進む半導体チップの接着に不可欠な超薄型フィルム状接着剤「ダイボンディングフィルム」の高機能化を実現した。開発にあたっては、大学の研究室に将来の製品化を担う日立化成の研究員が駐在する集中研方式をとることにより、基盤技術から実用化までの橋渡しや知的財産の取得が可能となった。開発された「ダイボンディングフィルム」は、柔軟性に優れたアクリルポリマと接着性に優れたエポキシ樹脂とをナノレベルで制御することにより、薄さと高い柔軟性および接着信頼性を同時に実現し、半導体の高集積化に寄与するとともに、世界シェアは約70%と半導体積層技術のデファクトスタンダードとなっていることは極めて高く評価される。



開発されたダイボンディングフィル



接着された半導体チップ

平成23年9月20日
山形大学

初開催！ ホームカミングディ in 小白川キャンパス

10月15日の開学記念日に、小白川キャンパスにおいてホームカミングディを開催し、旧友や懐かしい恩師との再会、世代を超えた在学生との交流を図ります。

- 日時：平成23年10月15日（土） 11：00～17：30
場所：山形大学基盤教育1号館（山形市・小白川キャンパス）
対象者：山形大学小白川地区学部卒業生と全学在学生
内容：①記念式典（学長挨拶・大学歌演奏）
②基調講演（高畠ワイン株式会社社長奥山徹也氏）
③農学部食材による芋煮会
④OB・OGフォーラム
⑤キャンパス内見学

◇小白川キャンパスにおけるホームカミングディは、同窓生・在学生の親睦を図るほか、「就職」と「キャリアデザイン」をキーワードにし、初めて開催するものです。

東日本大震災の発生により、更に厳しさを増した経済情勢の中、「OB・OGフォーラム」においては、在学生の適職とキャリアアップを目指し、パネルディスカッション及び在学生との情報交換を予定しています。

※当日の取材については、あらかじめ下記までご連絡くださるようお願いいたします。

（お問い合わせ）

山形大学小白川キャンパス事務部

就職課長 森谷 豊

（TEL）023-628-4145

プレス発表資料

平成23年9月20日
山形大学

科学で 東北を 盛り上げ 隊！ @石巻

子供たちに科学の楽しさを体験してもらうため、イオン石巻ショッピングセンターで街角科学イベントを開催します。

日 時：平成23年9月25日（日）10：00～16：00

会 場：イオン石巻ショッピングセンター 緑の広場 海の広場

対 象：どなたでも 参加料無料

内 容：☆スライム実験 ☆手がひんやりサイエンス ☆光の不思議

☆人工いくらを作ってみよう ☆クラゲ展 ☆移動チャレンジラボ

☆くすりとふれあおう ☆変形菌(粘菌)の広場 ☆蔵王展

☆宇宙の不思議を感じてみよう ☆科学おもちゃを体験しよう

◇石巻の復興を願い、子供たちに笑顔・学ぶ楽しさ・驚きを提供します。

実験・体験をとおして、科学の楽しさを感じてもらえる機会にしたいと思います。

◇震災被害に関わらず、気軽に科学に親しむ機会が少ない子ども達に、ショッピングセンターという人の集まる場所で、科学実験・体験を楽しんでもらいます。その際、今まで科学に興味の無かった保護者のみなさまにも、子供たちと一緒に楽しく科学に親んでもらいたいと考えています。

(お問い合わせ)

山形大学SCITAセンター

(TEL) 023-628-4517

科学で

東北を

盛り上げ

どなたでも参加できます
参加料無料
小さなお子様は保護者同伴で
お願い致します



祭!

@ 石巻

☆日時 平成23年9月25日(日)

10:00 ~ 16:00

☆場所 イオン石巻ショッピングセンター
緑の広場 海の広場

☆スライム実験

☆光の不思議

☆クラゲ展

☆くすいとふれあおう

☆蔵王展

☆科学おもちゃを体験しよう

☆手がひんやりサイエンス

☆人工いくらを作ってみよう

☆移動チャレンジロボ

☆変形菌(粘菌)の広場

☆宇宙の不思議を感じてみよう

主催 やまがた『科学の花咲く』プロジェクト

(提案: 山形県 運営: 山形大学) ★連携機関

共催 ★鶴岡市立加茂水族館 ★山形県立博物館 ★鶴岡工業高等専門学校

★NPO小さな天文学者の会 ★東北文教大学 東北芸術工科大学

仙台市科学館 東北薬科大学 株式会社ナリカ

東北大学女性研究者育成支援推進室サイエンスエンジェル

復援 山形大学校友会 石巻市教育委員会 ナリカ理化学株式会社

田宮印刷株式会社 イオン石巻ショッピングセンター

プレス発表資料

平成23年9月20日
山形大学

午後のひととき 最先端にふれてみませんか？『午後のサイエンス』

理学部公開講座『午後のサイエンス』で、最新鋭の高感度加速器質量分析システム（AMS）にふれながら、最先端の技術と年代測定の話題でお楽しみください。

日 時：1日目 平成23年10月22日（土）13：00～16：30
2日目 平成22年10月23日（日）13：00～16：00
会 場：山形大学SCITAセンター
山形大学高感度加速器質量分析センター
対 象：一般の方（高校生以上） 30名
受 講 料：一般 1,000円、高校生 500円
申込み期間：平成23年9月14日（水）～10月14日（金）

◇今年のテーマは高感度加速器質量分析システムです。

1日目には、最新鋭の高感度加速器質量分析システム（AMS）による年代測定から、最新の分野である医学・薬学への応用、そして加速器を使った新元素発見の挑戦について紹介します。その後、上山市の山形大学総合研究所に開設された「山形大学高感度加速器質量分析センター」を見学していただきます。

◇2日目には、「分子時計」によって推定された生物進化の研究や「U-Pb年代測定」「 ^{40}Ar - ^{39}Ar 年代法」の年代測定法の講義を行います。

◇高感度加速器質量分析システム（AMS）は、稼働中の見学はできません。今回は、ご覧いただく数少ない機会です。

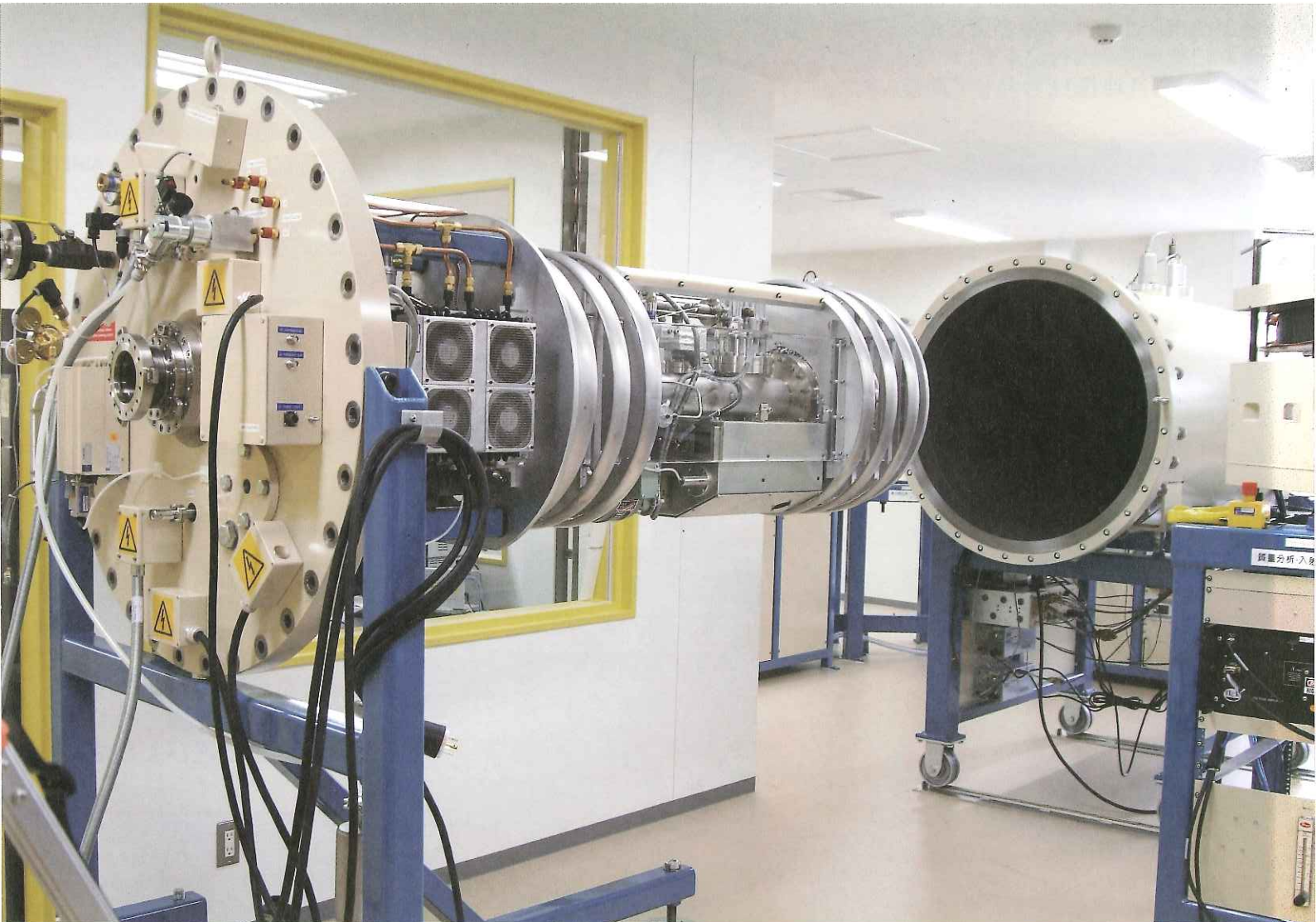
※理学部の公開講座は、10月の大学祭「八峰祭」と合わせて開催することにしました。
また、毎年実施している研究室公開も行います。

山形大学小白川キャンパス事務部
理学部事務室 公開講座担当係
(TEL) 023-628-4505

2011年度
山形大学理学部公開講座

午後のサイエンス

—最新鋭・高感度加速器質量分析システムがもたらす理学の新展開—



SCITA

Faculty of Science,
Yamagata University

SCITA (サイタ) は、山形大学理学部が、いつも地域の未来のための科学 (SCIENCE for Tomorrow in our Area) を考え、地域に貢献できる存在になりたいという願いをこめて、作った愛称・ロゴです。

第1日目: 10月22日(土)

第2日目: 10月23日(日)

やつみねさい

山形大学大学祭「八峰祭」同時開催

対 象

一般の方（高校生以上） 30人

※事前申し込みが必要です。
詳しくは、右記「お申し込み方法」欄をご覧ください。

受 講 料

一般の方 1,000円

高校生 500円

※受講料は当日受付時にお支払いください。

会 場

<集合・講義等>

山形大学^{サイタ}SCITAセンター

※大学正門を入れてすぐ左側の建物です。
理学部玄関からお入りください。

<実地見学>

山形大学高感度加速器質量分析センター

※上山市
マイクロバスでみんなで移動します。

ア ク セ ス

山形駅前（4番のりば）の「県庁前待合所」
行きに乗り「南高・山大入口」で下車、徒歩
7分

お申し込み方法

はがき・Eメール・FAX
で、①お名前 ②性別
③年齢 ④郵便番号
⑤ご住所 ⑥お電話番号
⑦ご職業または在学学校
名・学年を、下記お申し込み
先までお知らせください。
先着順で受付け、受講証を
お送りします。

お申込期間

2011年
9月14日(水)～
10月14日(金)

お申し込み・お問い合わせ先

山形大学小白川キャンパス事務部

理学部事務室公開講座担当係

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL: 023-628-4505

FAX: 023-628-4510

E-mail: koukai@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

【受付時間】9:00～17:00

(土曜・日曜・祝日除く)

● お 知 ら せ ●

★公開講座は、山形大学大学祭「八峰祭」と同日開催となります。
そのため、講座当日は小白川キャンパスへの**車両の入構は一切で
きません**ので、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいた
します。

★1日目の山形大学高感度加速器質量分析センター（上山市）へ
は、借り上げバスで移動いたします。（約30分）

必要事項をご記入の上、山形大学小白川キャンパス事務部理学部事務室
公開講座担当係までお申し込みください。

FAX: 023-628-4510

・・・ FAXお申し込み用紙・・・

お名前	性別	年齢
	男・女	歳
ご住所 〒	ご職業・学校名（学年）	
電話番号		

※お知らせいただいた個人情報は、今回の公開講座の事務手続き以外には使用いたしません。

この面をそのままFAXしてください。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

午後のサイエンス

—最新鋭・高感度加速器質量分析システムがもたらす理学の新展開—

最新鋭の高感度加速器質量分析システム (AMS) が、本年 2 月に設立された山形大学高感度加速器質量分析センターにおいて本格稼働を始めました。本システムを用いた研究の動向は、学内外から非常に高い注目を集めています。

今年の公開講座では、その研究グループの代表や関連分野の教員が、本システムの機能・構成と共に関連する研究について講義を行います。とても興味深いお話が聞けると思います。さらに、センターが所在する上山市の山形大学総合研究所に移動しての、システムの実地見学も行います。今年も 10 月の山形大学大学祭「八峰祭」と合わせて開催します。



AMS装置



AMS 測定のための
グラファイト作製装置

昨年 12 月には、理学部物理学科の門叶冬樹センター長が、この装置を使って「天保のそば」の年代を明らかにしました！



プログラム

第1日目◆平成 23 年 10 月 22 日 (土)◆ 会場: SCITA センター

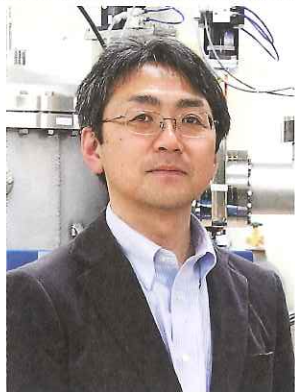
- | | |
|---------------|---|
| 13:00~13:05 | 開講式 |
| 13:05~14:20 | 講座1「AMSによる最新科学—新元素探査から新薬開発まで—」
講師:高感度加速器質量分析センター長 門叶冬樹 |
| (14:30~15:00) | 山形大学高感度加速器質量分析センターへバスで移動) |
| 15:00~16:00 | 山形大学高感度加速器質量分析センター実地見学 案内:センター長 門叶冬樹・センター主任 加藤和浩 |
| (16:00~16:30) | 山形大学小白川キャンパスへバスで移動) |
| 16:30 | 山形大学小白川キャンパス帰着・解散 |

研究室公開も行います！
※予約なしで誰でもOK
ぜひ足をお運びください

第2日目◆平成 23 年 10 月 23 日 (日)◆ 会場: SCITA センター

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| 13:00~14:15 | 講座2「分子時計で計る生物の進化」 講師:生物学科教授 半澤直人 |
| 14:15~14:30 | 休憩 |
| 14:30~15:45 | 講座3「年代測定事始め」 講師:地球環境学科教授 齋藤和男 |
| 15:45~15:55 | 閉講式 |
| 16:00 | 解散 |

AMSによる最新科学—新元素探査から新薬開発まで—



門叶 冬樹 (トカナイ フユキ)
専門分野は、原子核・宇宙物理学実験で、特にこれらの実験で使用する測定器開発を中心に研究を行っている。趣味は、アウトドアとスポーツ観戦。家族は、妻と子3人の5人家族。

山形大学は平成22年3月、東北・北海道地区の大学として初となる高感度加速器質量分析装置を、上山市の山形大学総合研究所に導入しました。本公開講座では、この加速器質量分析の動作原理、これまでに得られた山形県内の年代測定試料の解析結果、医学・薬学への新しい応用研究、そして加速器を使った新元素発見の挑戦について紹介します。



AMS装置を操作する門叶センター長

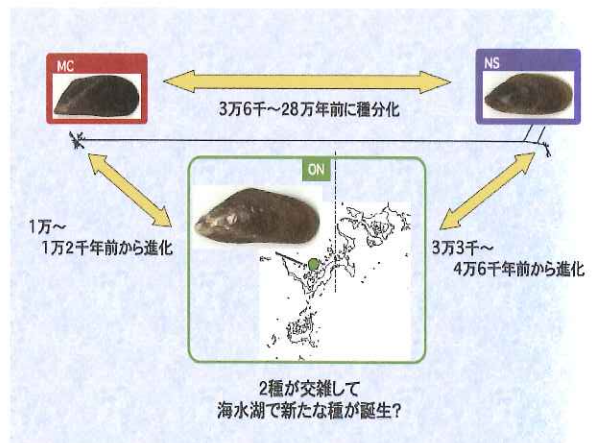
分子時計で計る生物の進化



半澤 直人 (ハンザワ ナオト)
福島県生まれ、東京育ち。野外調査やDNAの分析によって、水生動物の進化や絶滅危惧種の保全の研究をしている。今でもフィールドであるパラオ諸島や最上川水系では率先して潜水観察し、にわか漁師に変身して採集を行っている。理学部スポーツ大会では卓球やソフトボールで汗を流している。妻とトイプードルと暮らしている。

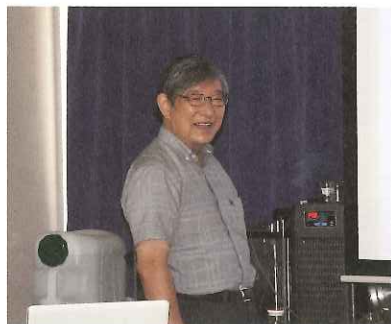
震災による原発事故以来、放射性物質の生物への影響が心配されています。放射線によって細胞内のDNAが多少損傷しても、元々そなわっているDNA修復機構が働いて、すぐに細胞や体に異常は起こりません。しかし、38億年という生物進化の長い歴史の中では、DNA複製と修復のミスがDNAに集積して、生物を進化させてきたと考えられます。

この講座では、様々な生物の遺伝子の比較から明らかになった「分子時計」という概念を解説し、実際に分子時計によって推定された生物進化の研究例を紹介します。



分子時計で推定されたパラオ海水湖のイガイ科貝類の種分化

年代測定事始め



齋藤 和男 (サイトウ カズオ)
横浜生まれ、大学院を修了するまで横浜在住。3年のミネソタ生活のあと、山形に居住。大学院の研究テーマとして与えられたのが、⁴⁰Ar-³⁹Ar年代法による海底岩石の年代測定。開発されたばかりの手法で実験装置の作成から手法の修得まで原著論文だけがたよりだった。クラシック音楽のCD1300枚を自家製の棚に入れ、その横で寝ている。地震の時は寝ている体の上にCDがドサッと落ちてこないかと少々心配である。

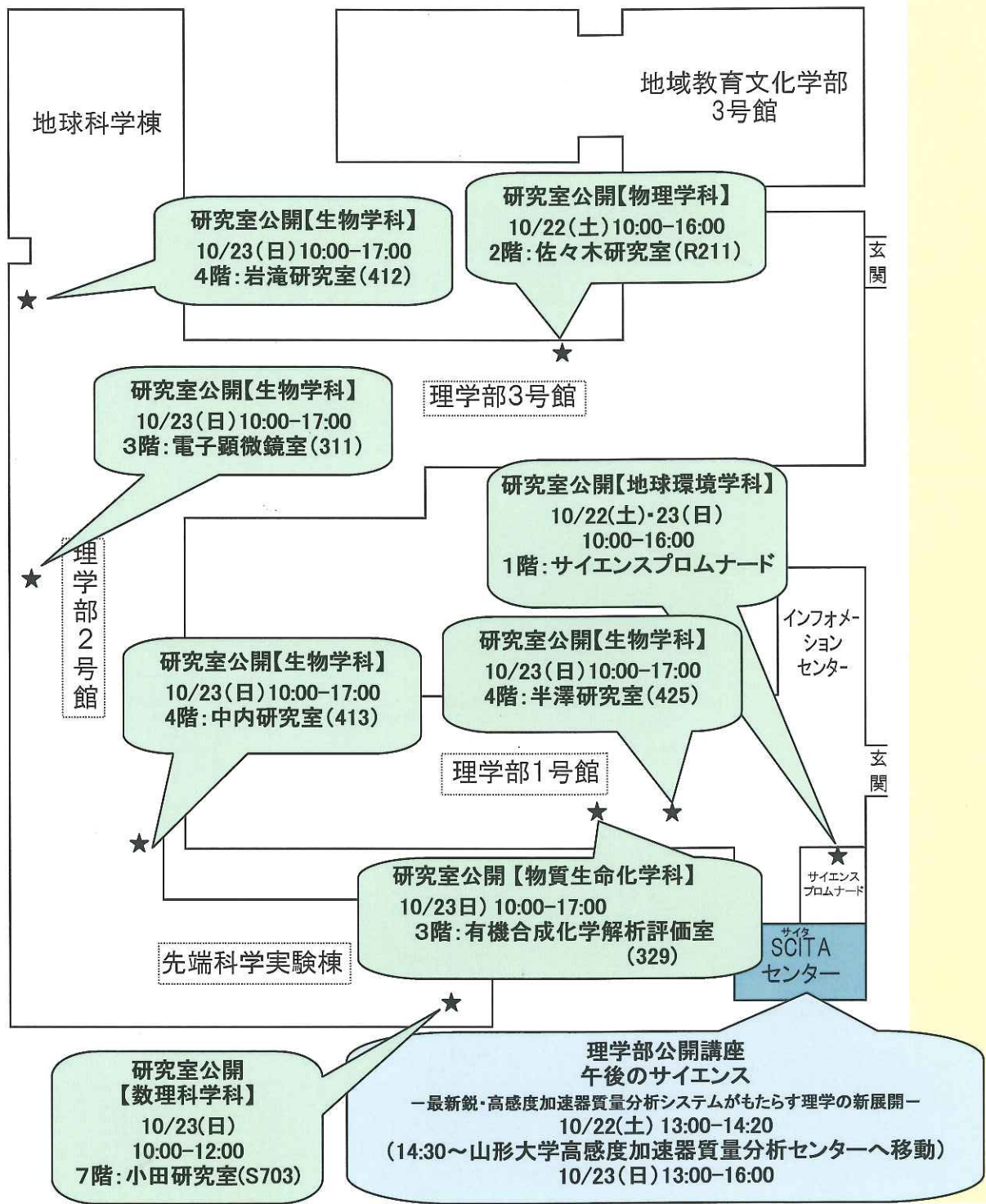
H. Becquerel がウラン鉱物の放射能を発見したのが1896年。1911年には早くもA. HolmesがU-Pb年代測定に基づいた最初の地質年代表を発表しています。

カリフォルニア大学で隕石のキセノンの研究をしていたC. Merrihueは測定チャートに³⁹Arが記録されていることに気づきます。⁴⁰Ar-³⁹Ar年代測定法はXe研究の副産物として誕生し、隕石、月、海底岩石の年代測定に威力を発揮してきました。この2つの年代測定法の「事始め」を中心に話します。



希ガス分析用質量分析装置

理学部では 研究室公開・公開講座を 開催します



正門

上記時間帯中であれば、いつ来ていただいても大丈夫です。部屋の出入りも自由です。
気軽に理学部をのぞきにきてください。

平成23年9月20日
山形大学

文部科学省・山形大学 共同イベント 『大学は美味しい！！ in 文部科学省』

プラスチック発泡成形技術を応用した米粉100%パンの開発 ～なぜプラスチック研究者が米粉パンを開発できたか～

日時:平成23年9月21日(水)13:30～15:30

場所:文部科学省「情報ひろば ラウンジ」

(東京都千代田区霞が関3-2-2 旧文部省庁舎1階)

対象:自由参加(当日、会場にお越しください。)

プログラム:

13:30～ 講演『「大学が、オイシイ」って本当ですか?』

(株)小学館『大学は美味しい!!』プロジェクト推進室 統括
松元浩一 氏

14:00～ 試食品及びコーヒー配布・歓談

14:10～ 講演『プラスチック発泡成形技術を応用した米粉100%パンの開発』
山形大学大学院理工学研究科 西岡昭博 准教授

15:10～ 質疑応答

- ◇「大学は美味しい!!」フェアは、小学館『DIME(ダイム)』が平成18年4月から『大学は美味しい!!』として、教授や学生たちが研究にかける熱意や、メーカー側の試行錯誤など、それぞれの研究室に隠れたドラマを連載したのがきっかけで、大学の研究室で生まれた”大学ブランド食品”を出品・販売する先駆けとなったイベントです。
- ◇大学自らがその開発・販売を手がける“大学ブランド食品”。その“「食」の研究成果”を「論文」という形ではなく、「食品」という形で発表し、目で見えていただき、舌で味わっていただくことでもっと「食」に関心を持ってもらうのがねらいです。
- ◇平成20年2月に全国24大学の参加でスタートした、「大学は美味しい!!」フェアも4回目を数え全国35大学が参加する一大イベントに成長し、今年も、東京・新宿高島屋を会場に9月22日(木)～26日(月)の日程で開催されます。
- ◇それに先立ち、文部科学省「情報ひろば ラウンジ」において、開発者が、その技術をおわかりやすく紹介します。「米粉100%クッキーシュー」の試食も準備します。

(お問い合わせ)

山形大学総務部広報室

(TEL) 023-628-4005



文部科学省「情報ひろば」ラウンジフォーラム for 山形大学

大学は美味しい!! in 文部科学省

◆開催日時◆ 平成23年**9月21日(水)** 13:30~15:30

◆開催場所◆ 文部科学省「情報ひろば ラウンジ」
及び 庁舎エントランス前ひろば
(東京都千代田区霞が関3-2-2 旧文部省庁舎1階)

◆プログラム◆

- ◇12:00~13:00 庁舎エントランス前ひろばで試食品配布
- ◇13:30~14:00 講演:『「大学が、オイシイ」って本当ですか?』
(株)小学館『大学は美味しい!』プロジェクト推進室 統括 松元浩一氏
- ◇14:00~14:10 試食品及びコーヒー配布・歓談
- ◇14:10~15:10 講演:『プラスチック発泡成形技術を応用した米粉100%パンの開発
—なぜプラスチック研究者が米粉パンを開発できたか—』
山形大学大学院理工学研究科 西岡昭博 准教授
(試食品を食べながら、コーヒーを飲みながら)
- ◇15:10~15:30 質疑応答

◆参加方法◆ 自由参加(当日、会場にお越しください)



文部科学省

主 催 ◆ 文部科学省、山形大学

お問合せ ◆ 文部科学省大臣官房総務課広報室事業第二係 TEL:03-6734-2170
山形大学 総務部広報室 TEL:023-628-4005



山形大学

プレス通知資料（概要）

平成23年9月20日
山形大学

1. 国際事業化研究センター『省エネ手法を活用したコストダウンセミナー』

(概要)◇世界的な経済不況に加え、東日本大震災による原子力発電所の停止の影響などから、特に東日本では、節電や省エネ対策にしっかりと取り組んでいかざるを得ないという現実があります。

◇このような状況の下、節電や省エネ対策を見直すことにより削減できるコストは、そのまま会社の利益につながります。

◇本セミナーで紹介する具体的な方策や事例を活用し、現在取り組んでいる節電・省エネ対策の見直しを図ってみませんか？

日 時:平成23年9月27日(火) 18:00～

場 所:グランドホクヨウ米沢1F(米沢市金池2-3-7)

定 員:70名、参加無料

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学国際事業化研究センター

次世代エネルギー利活用推進調査事業担当:小林・舟山

(TEL)0238-26-3483

2. 医学部公開講座『ここまで分かった認知症～診断、治療、ケアのポイント～』

(概要)◇認知症の原因疾患および認知症と間違いやすい疾患・病態について解説します。

◇次に、認知症をきたす三大疾患であるアルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症について、最近の知見を交えて診断・治療のポイントを解説します。

◇最後に、認知症のケアの理論・実際についても解説します。

日 時:平成23年10月1日(土) 13:00～17:00

場 所:山形大学医学部大講義室(山形市・飯田キャンパス)

対 象:医療従事者・介護関係者・一般市民 100名

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

※申込は終了しました。当日の取材をよろしくお願ひいたします。

問い合わせ:山形大学医学部総務課庶務担当

(TEL)023-628-5006

3. 工学部『リサイクルアート親子教室！』

(概要)◇小学生のみなさん！

◇こわれた電子部品で何か作ってみよう！！

日 時:平成23年10月1日(土) 13:30～17:00

場 所:山形大学工学部米沢街中サテライト(米沢市・米沢市門東町3-1-47)

対 象:小学生5,6年生とその保護者 15組(小学生と保護者2人1組)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学工学部 米沢街中サテライト

(TEL)0238-40-0761

4. 地域教育文化学部公開講座『日本刀鑑賞のための基礎知識』

(概要)◇この講座では、日本刀の製作工程から鑑賞・保存方法に至るまでの基礎的な知識を実物に即しながら学びます。

日 時:平成23年10月1日(土)、8日(土)、15日(土)13:30～17:00

場 所:山形大学地域教育文化学部1号館 共通14演習室(山形市・小白川キャンパス)

対 象:一般市民・大学生 35名

受講料:3,000円

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学地域教育文化学部 事務室

(TEL)023-628-4304

5. 地域教育文化学部公開講座『家族で楽しむための理科教室』

(概要)◇この講座は、お父さん、お母さん、おじいちゃん、そしておばあちゃんに、もう一度、理科教室に戻ってもらい、いつも目にふれているため当然と考えてしまっている日常的現象を取り上げます。

◇その現象の解決するための実験や観察の方法を、家族で考え、実験や観察を行って、科学の見方や考え方を「再認識」してもらうことを目的としています。

日 時:平成23年10月1日(土)、15日(土)、22日(土)、11月5日(土) 13:30～15:30

場 所:山形大学地域教育文化学部2号館

多目的・理化学実験実習室(山形市・小白川キャンパス)

対 象:小学校3年生以上の子どもとその家族 家族20組

受講料:2,000円

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学地域教育文化学部 事務室

(TEL)023-628-4304

6. 工学部『吾妻祭』

(テーマ)『ピース ～Peace×Piece～』平和(Peace)とパズルのピース(Piece)の意味を持ちます。

◇【Peace】東日本大地震により、私たちの平和を願う気持ちは一層強くなりました。各地で多くの被害が報告されているなか、米沢は比較的平穏な生活ができています。それと同時に、例年通りに吾妻祭を開催できることにも感謝すべきだと思いました。

◇【Piece】吾妻祭は実行委員、関係者、参加者の全員がそろってこそ成り立つものです。すべての人が吾妻祭というパズルの1ピースであり、一人一人が吾妻祭の主役であると思いました。

日 時:平成23年10月8日(土)～10日(月)

場 所:米沢女子短期大学(8日)、山形大学工学部(9日、10日)

内 容:オープニングイベント、アーティストライブ、各種企画、屋台、研究室公開 など

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:吾妻祭実行委員会

(E-mail) azumasai2011@hotmail.co.jp

7. 工学部『ホームカミングデイ』

(概要)◇工学部では、年に1度卒業生を招き、旧交を温めていただく「ホームカミングデイ」を開催しています。

日 時:平成23年10月8日(土) 12:00～

場 所:山形大学工学部大示範教室(米沢市・工学部キャンパス)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学工学部 企画総務担当

(TEL)0238-26-3005

8. 工学部『第11回クラシックコンサート』

(概要)◇「吾妻祭」の開催に合わせて、恒例のクラシックコンサートを開催します。

◇ギターソロでアルハンブラ宮殿の思い出などの古典的なクラシックギターの曲のほか、ラヴェルのボレロをギターソロで演奏するという挑戦的な曲目、そしてオリジナル作品を織り交ぜたカラフルな構成を予定しています。

◇ギター&ヴァイオリンではクラシック、JAZZ、タンゴなどを演奏します。

日 時:平成23年10月8日(土) 13:00～14:20

場 所:山形大学工学部百周年記念会館(米沢市・工学部キャンパス)

定 員:80名、入場無料・事前申込要

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学工学部 企画総務担当

(TEL)0238-26-3005

9. 工学部『米沢バイオ公開セミナー』

(概要)◇米沢でのバイオ分野の研究ははじまったばかりですが、米沢でのバイオ分野の研究はとってもホットです。そして、工学部という環境を生かして「役に立つ」研究が行われています。

◇今回は、我々の体の主な臓器の働きや病気について勉強できる内容になっています。

日 時:平成23年10月9日(日) 13:30～17:15

場 所:山形大学工学部百周年記念会館セミナー室(米沢市・工学部キャンパス)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:】山形大学工学部 バイオ化学工学科 阿部 靖之・黒谷 玲子

(TEL)0238-26-3180

10. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』(10月分)

(テーマ)『山形の元気！再発見 新山形学～地球環境問題編～』

◆日 時:平成23年10月11日(火) 18:30～19:30

「極地から探る地球温暖化」

鈴木 利孝 (山形大学理学部・教授)

◆日 時:平成23年10月20日(木) 18:30～19:30

「欧州と東北の自然エネルギー」

三浦 秀一 氏 (東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科・准教授)

◆日 時:平成23年10月27日(木) 18:30～19:30

「リサイクル・リユース最前線」

皆川 雅朋 (山形大学工学部・准教授)

場 所:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

対 象:高校生・学生・一般市民 50名

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局

(TEL)023-628-4842

1 1. 大学コンソーシアムやまがた『合同企業説明会』

(概要)◇参加企業を募集します。ご参加をお待ちしております。

◇人材発掘のチャンスです。企業PRのチャンスです。

◇大学コンソーシアムやまがた加盟機関の平成24年3月卒業・修了予定学生及び卒業後1年以内(平成23年3月以降)の卒業生を対象とします。

日 時:平成23年11月1日(火)、2日(水)

第1部10:00～13:00、第2部13:30～16:30

場 所:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

募集企業:山形県及び東北地方の企業

参加費: 2,000円(当日会場にていただきます。)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局

(TEL)023-628-4842

1 2. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント

当日の取材をよろしく願いいたします。

○大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』(9月分)

(テーマ)『山形の魅力再発見 新山形学～健やかな生活編～』

日 時:平成23年9月、21日(水)、28日(水)、10月5日(水)18:30～19:30

場 所:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局

(TEL)023-628-4842

○人文学部公開講座『ポスト震災を考えるーこれからの社会のあり方ー』

日 時:平成23年9月27日(火)～10月25日(火) 毎週火曜日 計5回

18:30～20:10

場 所:山形大学人文学部1階 104教室(山形市・小白川キャンパス)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学人文学部事務室

(TEL)023-628-4203

○有機エレクトロニクス研究センター『開所記念式典・記念講演会』

日 時:平成23年9月30日(金) 10:30~18:00

場 所:山形大学工学部、上杉城史苑、伝国の杜(米沢市)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学有機エレクトロニクス研究センター 研究プロジェクト支援室
(TEL)0238-26-3590

○国際事業化研究センターまちづくり談話会、もっとみらいコンソーシアム研究会
『中国における事業展開と資金調達』

日 時:平成23年9月30日(金) 14:00~15:30

場 所:山形大学工学部街中サテライト(米沢市)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:“もっとみらい”コンソーシアム事務局
(TEL)0238-26-3622

○都市・地域学研究所公開講座『山形の魅力再発見 Part9』

日時、場所:①平成23年10月1日(土) 9:00~17:00

山形大学農学部演習林

②平成23年10月8日(土) 13:00~16:10

山形大学人文学部

③平成23年10月22日(土) 9:00~16:00

天童市内

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学人文学部 松尾研究室
(TEL)023-628-4917

○大学コンソーシアムやまがた

『正解への道標~ミチシルベ~大学生による大学受験講座!』

日 時:平成23年10月2日(土) 9:00~

場 所:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局
(TEL)023-628-4842

○特別プロジェクト「井上ひさしの東北」公開講座『井上ひさしの世界』

日 時:平成23年10月12日(水)～11月2日(水)

毎週水曜日 全4回 各回18:30～19:30

場 所:大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

(山形市香澄町 むらきさわビル1F)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学渉外部社会連携・図書・情報課

(TEL)023-628-4016

○農学部 ひらめき☆ときめきサイエンス『生物の多様性を考える

ー土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用ー』

日 時:平成23年10月15日(土) 9:00～16:10

場 所:山形大学農学部3号館(鶴岡市・農学部キャンパス)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学農学部企画広報室

(TEL)0235-28-2910

○附属博物館公開講座『掛軸のい・ろ・は～表装から画題まで～』

日 時:平成23年10月15日(土)～29日(土) 13:30～17:00

場 所:山形大学附属博物館(山形市・小白川キャンパス)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学附属博物館

(TEL)023-628-4930

＜次世代エネルギーの利活用による低炭素社会形成に向けて＞

世界的な経済不況に加え、東日本大震災による原子力発電所の停止の影響などから、特に東日本では、節電や省エネ対策にしっかりと取り組んでいかざるを得ないという現実があります。このような状況の下、節電や省エネ対策を見直すことにより削減できるコストは、そのまま会社の利益につながります。

本セミナーで紹介する具体的な方策や事例を活用し、現在取り組んでいる節電・省エネ対策の見直しを図ってみませんか？

日時 : 平成23年9月27日(火) 18:00~
会場 : グランドホクヨウ米沢1F (米沢市金池2-3-7)
定員 : 70名 **参加費** : 無料 (情報交換会は参加費4,500円)

18:00 開会挨拶

18:10 『工場における省エネの具体的方策・事例』

財団法人 省エネルギーセンター
エネルギー使用合理化専門員 栗田 晃一 氏

19:00 『次世代エネルギー、助成制度等について』

東北経済産業局 資源エネルギー環境部
エネルギー課 課長 泉 秀明 氏

19:50 地域の取り組み紹介

『地域内での低炭素社会形成に向けた取り組みの紹介』

置賜総合支庁 保健福祉環境部
環境課 環境企画専門員 鈴木 伸二

『置賜地域における炭素社会形成に向けた研究会の紹介』

山形大学 国際事業化研究センター
研究支援者 小林 光弘

20:00 閉会

※セミナー終了後1時間程度、情報交換会を予定しております。

『省エネ手法を活用したコストダウンセミナー』(9月27日開催)
に参加ご希望の方は、下記必要事項にご記入の上、FAX、または
E-mail: m-kobayashi@yz.yamagata-u.ac.jp までご返送ください。

申込締切: 平成23年9月20日(火)

事業所名			
ご住所			
ご連絡先	TEL	E-mail	
ご参加者名	役職名	情報交換会	
		参加 ・ 不参加	
		参加 ・ 不参加	
		参加 ・ 不参加	
		参加 ・ 不参加	
		参加 ・ 不参加	

★個人情報の取り扱い★

申込書にご記入いただいた個人情報は、本セミナーに係る参加者確認のために使用し、
その他の目的の為に使用する事はありません。

お問い合わせ

山形大学国際事業化研究センター
次世代エネルギー利活用推進調査事業 担当: 小林・舟山

〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16 インキュベーション施設2F
TEL: 0238-26-3483 / FAX: 0238-26-3409
E-mail: m-kobayashi@yz.yamagata-u.ac.jp

平成23年度 山形大学医学部公開講座

ここまで分かった 認知症

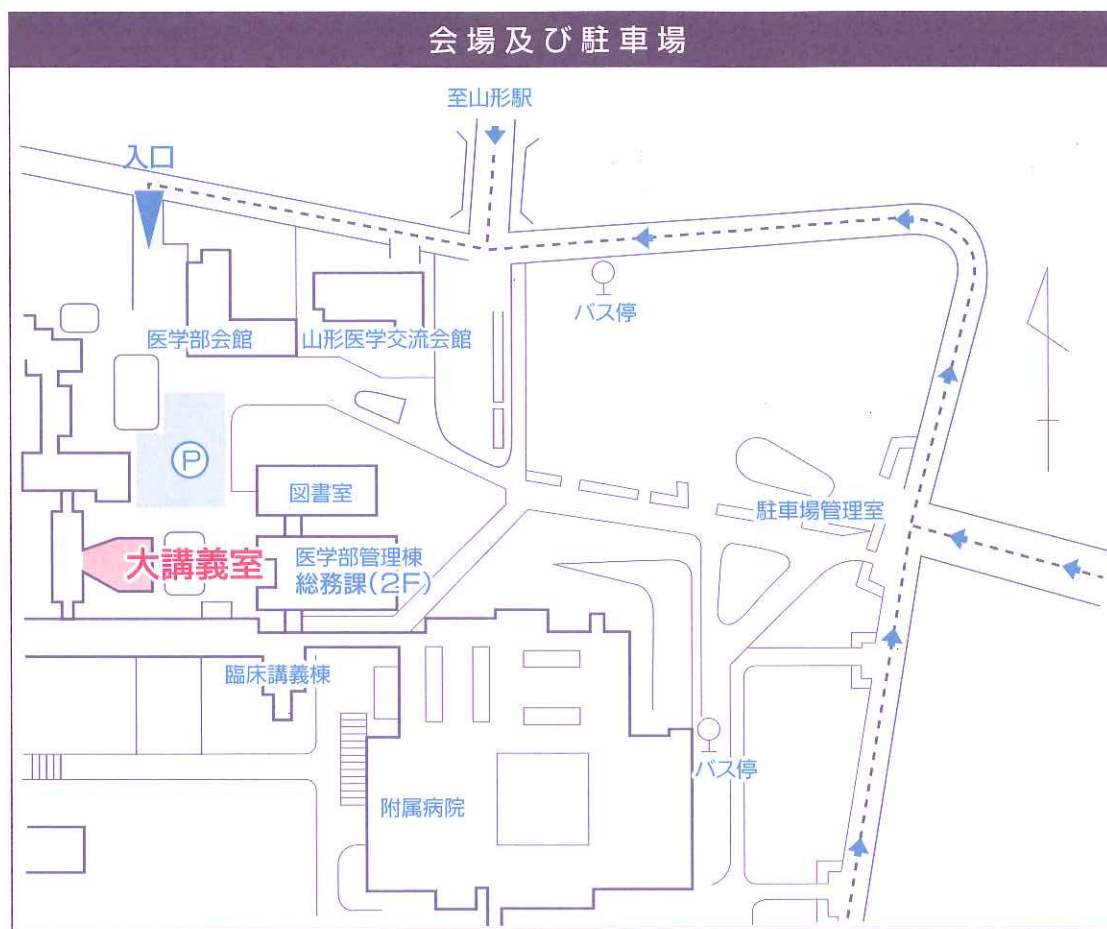
診断、治療、ケアのポイント

医療関係者でも認知症を疾患名(病名)と考えている人が少なくないように思われます。しかし、認知症は病名ではなく、症状(症候)を表す言葉です。

本講座では、最初に、認知症の原因疾患および認知症と間違いやすい疾患・病態について解説し、次に、認知症をきたす三大疾患であるアルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症について、最近の知見も交えて診断・治療のポイントについて解説します。特に、レビー小体型認知症は「ありふれた病気(common disease)」にも拘わらず、多くの老人施設・介護施設では正しく認識されていません。本講座でこの病気のポイントについても学んでいただきたいと思います。

また、外科的治療により認知症が劇的に改善する疾患もあります。これらの疾患は見逃してはいけない疾患です。最後に、認知症のケアの理論・実際について解説します。

会場及び駐車場



ここから切り離して郵便局にお出しく下さい。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号及び金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この払込取扱票の裏面には、何も記載しないでください。

リサイクル適性 **A**

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

開催日時

10月1日(土) 13:00~17:00

場 所

医学部大講義室(山形市)

受講対象者

医療従事者・介護関係者
一般市民

募集人数

100名

受講料

受講料……4,000円

受講の手続

申込期間……平成23年8月1日(月)~平成23年8月31日(水)まで

申込方法……「払込取扱票」に記入の上、郵便局で手続きしてください。
通信欄に職業等、必要事項を記入してください。
先着順に受け付け後、受付証をお送りします。

問合せ先……医学部総務課庶務担当
〒990-9585 山形市飯田西2-2-2
TEL/023-628-5006



1. 認知症とは何か 高次脳機能科 鈴木匡子 先生

2. 各疾患の診断・治療のポイント

1) アルツハイマー型認知症 精神科 川勝 忍 先生

2) 血管性認知症 第3内科 和田 学 先生

3) レビー小体型認知症 第3内科 川並 透 先生

4) 外科的治療が有効な認知症

①正常圧水頭症 第3内科 伊関千書 先生

②慢性硬膜下血腫、髄膜腫、その他 .. 脳神経外科 松田憲一朗 先生

3. 認知症のケア 地域看護学講座 細谷たき子 先生

4. 総合討論 第3内科 加藤丈夫 先生

ここから切り離して郵便局にお出しく下さい。

払込取扱票										通常払込料金 加入者負担					
02		口座番号								金額					
02		260		7		92478		4000							
加入者名	国立大学法人山形大学								料金	特殊取扱					
通信用欄	※ 山形大学医学部公開講座 この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。 ●職業 _____ ●勤務先 _____ ●性別 男・女 _____ ●年齢 歳 _____ ●受講歴 _____ ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー等のご案内を本学からお送りする場合がございます。 <input type="checkbox"/> 承諾する <input type="checkbox"/> 承諾しない (いずれかをチェック願います。)														
ご依頼人	※ おところ (郵便番号) _____) おなまえ _____ 様								受付局日附印						
裏面の注意事項をお読みください。(私製承認仙第0982号)										これより下部には何も記入しないでください。					

払込金受領証									
口座番号		通常払込料金加入者負担							
022607		92478							
加入者名	国立大学法人山形大学								
金額	4000								
ご依頼人	おなまえ _____ 様								
料金	受付局日附印								
特殊取扱									

各票の※印欄はご依頼人において記載してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押ししてください。

市民投票!

リサイクルアート・コンテスト

<応募期間>

平成23年 10月1日(土)~11日(火)

<応募資格>

- ・自身が作ったオリジナル作品で、市販品でないこと
- ・使用材の主がリサイクル品であること
- ・作品は縦×横×高さの3辺合計が90cm以内

<応募方法>

小学生の部と一般・学生・企業の部の2部門を設けてリサイクルアート作品を募集します。別紙応募用紙に必要事項をご記入のうえ、山形大学米沢街中サテライトキャンパス1F受付(不在の際は2F事務所)までお持ち込みください。

尚、郵送・配達等による応募は受付ておりませんのでご了承ください。

※2、9、10日は閉館日です



<投票期間>

平成23年

10月12日(水)~23日(日) 正午まで

<投票・審査>

山形大学米沢街中サテライトキャンパス内に展示ブースを開設いたします。来場された方に直接投票していただき、獲得票数が多い作品が優勝となります。

<申込・問合せ先>

山形県米沢市門東町3-1-47
山形大学工学部
米沢街中サテライトキャンパス
電話：0238-40-0761
FAX：0238-40-0765



最優秀賞
各部門1作品

米沢牛すき焼き15,000円相当分

優秀賞
各部門10作品

ふれあいカード
3,000円相当ポイント

米沢信用金庫
地域活性化賞
小学生の部
15作品

ニンテンドーDS 学習ソフト各種

先着
エントリー賞
各部門10作品

エコバッグ 先着50名様

投票者への
チャンス

1人1票 投票で
商品が当たる!

米沢 味のABC賞

A賞：舘山りんご

B賞：米沢牛すきやき

C賞：米沢鯉セット

5,000円相当分

5,000円相当分

5,000円相当分

<主催>山形大学工学部、米沢市、米沢信用金庫

<後援>米沢商工会議所、米沢電機工業会、米沢市平和通り商店街振興組合、有限会社厚生社

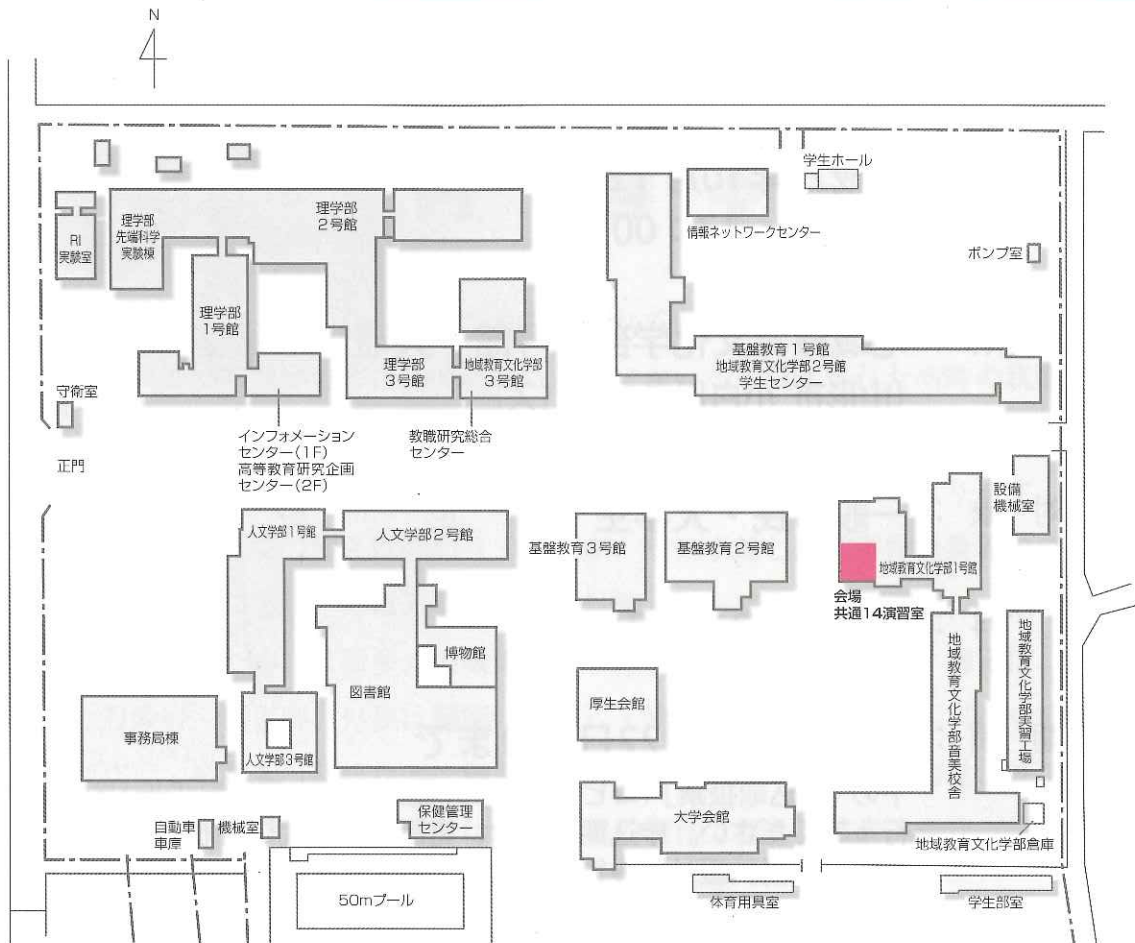
平成23年度山形大学 公開講座
地域教育文化学部

日本刀鑑賞のための 基礎知識



山形大学
Yamagata University

会場案内



- バス…山形駅前（5番のりば）「関沢」行き「小白川1丁目」で下車、徒歩5分
- JR山形駅から、東方へ約2km
- JR山形駅から、「山形県庁」行きバスで「南高前」下車（所要時間 約7分）、徒歩 約5分
- タクシー…山形駅から10分程度

【公共交通機関ご利用のお願い】

大学内の駐車場は非常に手狭になっております
当日はできるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします

ここから切り離して郵便局へお出ください。(コピー不可)

02	払込取扱票										通常払込料金 加入者負担							
口座番号										金	千	百	十	万	千	百	十	円
0	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8					3	0	0	0
加入者名	国立大学法人山形大学										料金	特殊 取扱						
通信欄	※ 山形大学地域教育文化学部公開講座 「日本刀鑑賞のための基礎知識」受講申込書 この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。 ●職業 ●勤務先 ●性別 男・女 ●年齢 歳										※ 個人情報について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に提示・預託することはありません。ただし、ご承諾いただいた場合は、今後の公開講座やセミナー等のご案内を本学からお送りする場合がございます。 <input type="checkbox"/> 承諾する <input type="checkbox"/> 承諾しない (いずれかをチェック願います。)							
ご依頼人	※ おところ (郵便番号) () (ふりがな) おなまえ 様 (電話番号) ()										受付局日附印							

裏面の注意事項をお読みください。(私製承認仙第8982号)
これより下部には何も記入しないでください。

切り取らないで郵便局にお出ください。
記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

払金兼受領証										
口座番号	0	2	2	6	0	7	通常払込 料金加入 者負担			
加入者名	国立大学法人山形大学									
金額	千 百 十 万 千 百 十 円									
	3 0 0 0									
ご依頼人	おなまえ ※									
料金	受付局日附印									
特殊取扱										

◆ 内 容 ◆

日本刀の原形は平安時代に確立されたとされています。腐食しやすい鉄を材料としているにも関わらず、1000年経た今日においても製作された当時の状態で伝えられていることは驚嘆に値します。これは単に武器としての実用性だけではなく、刀に対する精神性や芸術性を古人が認めてきたことにもよります。今日では武器としての使命は終わりましたが、その卓越した芸術性は世界中で高く評価されています。刀は刀身と拵え（外装）からできていますが、一振りの刀を製作するためには数多くの職方の手を経なければなりません。例えば、刀身は刀鍛冶・研ぎ師、外装は鞘師（木工）・塗師（漆塗り）・金工（鐔や目貫の製作）・柄巻き（組紐などで柄を巻く）などです。いわば日本刀は伝統工芸美術品の集大成です。本講座では、日本刀の製作工程から鑑賞・保存方法に至るまでの基礎的な知識を実物に即しながら学びます。

第1回：日本刀の見どころ

- 1) 刀の種類（太刀、刀、脇差、短刀、劔、鑓、薙刀）と拵え（外装）【永井康雄】
- 2) 刀姿の変遷（各時代の特徴）と地金・刃紋・茎・刀身彫刻【鈴木俊一】

第2回：日本刀が出来るまで

- 1) 刀の素材（鋼、銑、鉄）【那須稔雄】
- 2) 製作工程（鍛錬、火造り、土置き、焼き入れ、研磨）【法華三郎】

第3回：日本刀の鑑賞と保存

- 1) 保存と取り扱い、鑑賞の作法とポイント（姿、鍛え、刃紋、帽子、茎）【永井康雄】
- 2) 刀劔と刀装具の鑑賞（古刀、新刀、新々刀、現代刀／刀装具の材料と技法）

【房前紀義】

日 時：平成23年10月1日(土)・10月8日(土)・10月15日(土) (全3回)
13:30~17:00

場 所：地域教育文化学部1号館 共通14演習室
(山形市 小白川キャンパス)

受講対象：一般市民・大学生 定 員：定員35名

受講料：全3回で3,000円

申込期間：平成23年9月22日(木)まで

下の「払込取扱票」(コピー不可)に記入の上、受講料の振り込み手続きを行ってください。申込期間後は、電話にてお問い合わせください。
なお、受講料振り込み後の返金はできませんのでご了承ください。

問い合わせ先：地域教育文化学部事務室

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

Tel: 023-628-4304

E-mail: kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は、郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ここから切り離して郵便局へお出しください。

ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号及び金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この払込取扱票の裏面には、何も記載しないでください。

家族で科学を楽しむための 理科教室

..... 内 容

「理科離れ」が社会的現象として取り上げられてから久しいですが、様々なアンケートの結果をみますと、子どもではなく大人の方が深刻のようです。子どもたちの「理科離れ」は、お父さんやお母さんの科学に対する関心の低さが大きな問題なのかもしれません。

本講座は、お父さん、お母さん、おじいちゃん、そしておばあちゃんに、もう一度、理科教室へ戻ってもらい、いつも目にふれているため当然と考えてしまっ、「どうしてそうなるの?」「どうしてそう考えるの?」と問われると「あれ、どうしてだっけ?」となる日常的現象を取り上げ、その現象の「しくみ」を解決するための実験や観察の方法を、家族で考え、家族で実験や観察を行って、科学の見方や考え方を「再認識」してもらうことがねらいです。

そして、食事や団らんのときに、家族みんなで、日常生活でごく普通にみられる現象を、「不思議だな?」「どうしてなんだろう?」と、科学の話題で弾む「理科大好き家族」が、少しでも増えてくれればよいと考えています。



日 時

平成23年

10月1日(土)・15日(土)
22日(土)・11月5日(土)

(全4回) 13:30~15:30

受講対象

小学校3年生以上の子どもと
その家族

定 員

家族20組(先着順)

受講料

2,000円

場 所

地域教育文化学部2号館
多目的・理化学実験実習室(山形市小白川キャンパス)

申 込

平成23年9月22日(木)まで
電話またはメールにてお申し込みください。

第1回 平成23年10月1日(土) 13:30~15:30

テーマ 「動く、回る、何かが起こる?」

物が動かないでじっとしていると何も起こりませんが、動いたり回ったりすると面白いことが起こります。どんなことが起こるのかについて考えてみましょう。そして、「コマ」を作ってみて、よく回るようにする秘密を探ってみましょう。

講 師 山形大学名誉教授 津留 俊介

第2回 平成23年10月15日(土) 13:30~15:30

テーマ 「地層の堆積と液状化実験」

わたしたちの住んでいる土地の多くは、洪水のときに、川が山を削って運んできた土砂が盆地や平野に堆積を繰り返してきたものです。そのような自然現象の場に人が住んでいると災害がおこります。このような川の働きについて、実験をおこない、さらに、地震の時に起こる液状化現象についても実験します。

講 師 山形大学地域教育文化学部 川辺 孝幸

第3回 平成23年10月22日(土) 13:30~15:30

テーマ 「理科(化学)の不思議な世界を探検しよう」

簡単な実験を通して、理科(化学)の不思議な世界を体験します。

- (1) サインペンのヒミツを探ろう：私たちの身の回りにあるカラフルなサインペン。そこにはあるヒミツが隠されています。簡単な実験を通して、そのヒミツを発見しましょう。
- (2) ものの溶け方を観察しよう：水にお砂糖を溶かすと体積はどうなるでしょうか。変わらない? 増える? 普段見過ごしてしまう、そんな疑問を解決しながら、物が溶ける様子を観察してみましょう。
- (3) ふしぎ・フシギを体験しよう：いままで見たことがないようなフシギな物質や現象を体験します。内容は当日のお楽しみです。

講 師 山形大学地域教育文化学部 石井 実

第4回 平成23年11月5日(土) 13:30~15:30

テーマ 「DNAの抽出」と「甘さのひみつ」

生活の中で、遺伝子組み換え食品、遺伝子診断、DNA鑑定など、遺伝子やDNAに関わる情報や事柄が多く知られるようになってきました。ここでは、実際にいくつかの食品からDNAを抽出し、それを視覚的に確認する実験を行います。さらに、食べ物の甘さのひみつを探ります。

講 師 山形大学地域教育文化学部 加藤 良一・鈴木 隆

山形大学 地域教育文化学部 事務室

17th

吾妻祭

~ Peace × Piece ~

10月8日(土) in 米沢女子短期大学

オープニングイベント 各種企画

アーティストライブ 開場 16:00 ~

開演 17:00 ~

10月9日(日) in 山形大学工学部

各種企画

屋台・展示・研究室公開・フリスビー

10月10日(月) in 山形大学工学部

各種企画

屋台・展示・研究室公開

高橋洋樹

影山ヒロノブ

谷本貴義



駐車場には限りがございます。なるべく公共機関をご利用ください。

詳しくは 2011 吾妻祭 HP ⇒ <http://azumasai2011.web.fc2.com/>

主催：山形大学工学部・米沢女子短期大学合同学園祭「吾妻祭」実行委員会



山形大学工学部

〜 第5回 〜

Homecoming day

ホームカミングデイ

山形大学工学部では、年に1度卒業生を招き、旧交を暖めていただく「ホームカミングデイ」を開催しています。

平成23年 10月8日(土)

12:00～

場所：山形大学工学部大示範教室

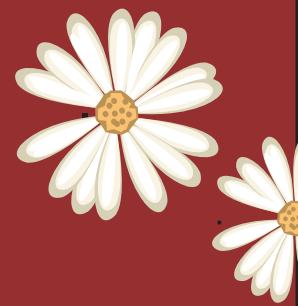
- 12:00～12:10 オープニングセレモニー
12:10～13:10 記念講演
『山形大学工学部のいま、そしてこれから』
山形大学工学部長 飯塚 博
13:15～14:15 中小企業体感ツアー成果報告会
『山形県内の中小企業を巡り
学生は何を感じ取ったのか・・・』

◆ 同 ◆ 時 ◆ 開 ◆ 催 ◆

◇工学部クラシックコンサート◇
13:00～14:20 場所：百周年記念会館セミナールーム

◇米沢工業会総会◇
14:30～ 場所：ホテルサンルート米沢

山形大学工学部企画総務担当 TEL:0238-26-3005



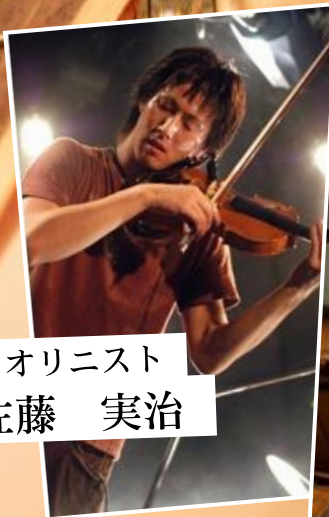
第11回

山形大学工学部

クラシックコンサート

日時 平成23年10月8日(土) 13:00~14:20 (開場 12:30)
会場 工学部百周年記念会館 (山形大学工学部内)
備考 入場無料・事前申込み要

定員80名



ヴァイオリニスト
佐藤 実治



ギタリスト
小関 佳宏

ESPRIT (エスプリ)

ギタリスト小関佳宏ヴァイオリニスト佐藤実治のユニット。2009年5月結成。仙台と札幌を中心に全国で活動中。クラシック曲やオリジナル曲を中心にタンゴ・ポップス・ジャズ・ケルト音楽等に独自のアレンジを加え演奏。ギターとバイオリンという楽器の持つ可能性を追求しジャンルフリーなオリジナリティ溢れる世界を作り出す。

主催：山形大学工学部
後援：山形県置賜総合支庁・米沢市教育委員会・(財)米沢上杉文化振興財団・(社)米澤工業会
山形大学工学部後援会・米沢市芸術文化協会・学園都市推進協議会

【お申込み受付】

平成23年9月8日(木) 午前10:00から電話受付開始

なお、定員(80名)になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ・お申込み

山形大学工学部 企画総務担当 TEL 0238-26-3005

※例年、国指定重要文化財 旧米沢高等工業学校本館にて 重要文化財コンサートを実施していましたが、地震による損傷で現在は入館禁止としているため、今年度は百周年記念会館にてコンサートを行います。

PROFILE



小関佳宏(こせき よしひろ) (ギター)

仙台市出身。1981年生。

ギターを佐藤 滋、佐藤弘和に師事。11歳からギターを始め、ストリートミュージシャンやバンドでの活動を経て、21歳のときにソロ・ギタリストとしての活動をスタートさせ、数々のアーティストと共にステージやレコーディングを行ってきた。

2007年、自身初のオリジナル・アルバム「fresh air」をリリース、2010年2ndアルバム「星と月と」をリリース。映画音楽の作曲やテレビCM、ラジオ番組への楽曲提供を行なっている。

近年の活動としては、オペレッタ・メリーウィドーにて東京交響楽団との共演、編曲者として現代ギター誌にてポピュラー曲の編曲を連載、札幌シティジャズ・現代ギター社GGサロンコンサートへの出演などがある。

小関佳宏ギター教室主宰、東北福祉大学クラシック・ギター部講師。



佐藤 実治(さとう なおはる) (ヴァイオリン)

宮城県加美町出身。1982年生。

ヴァイオリンを勅使河原真実、小林武史、板谷栄喜各氏に師事。

元ドラマーという異色の経歴を持つが、類い希な高い音楽性とクラシックの他 POPS, ROCK, JAZZ などのジャンルにとらわれない自由な発想で独自のスタイルを構築。

サポートミュージシャンとしてモンキーマジックの全国ツアーやいきものがかりのレコーディング、ポカリスエットのCM曲など、様々なアーティストのツアーやレコーディングに参加。

現在、ヴァイオリニスト&ドラマー&パーカッショニストとしてあらゆるジャンルの音楽を演奏し共演するという独自のスタイルで活動する。

プログラム

ギターソロでアルハンブラ宮殿の思い出などの古典的なクラシックギターの曲のほか、ラヴェルのボレロをギターソロで演奏するという挑戦的な曲目、そしてオリジナル作品を織り交ぜたカラフルな構成を予定。

ギター&ヴァイオリンの方ではクラシック、JAZZ、タンゴなどを演奏します。

申込方法

電話による受付となります。平成23年 9月8日(木)午前10:00から受付開始。

なお、定員(80名)になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ・お申込み：山形大学工学部 企画総務担当 TEL / 0238-26-3005

〒992-8510 山形県米沢市城南4丁目3-16

キャンパスマップ

【会場】

百周年記念会館(工学部内)
セミナールーム

駐車台数に限りがございますので、お近くの方は、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。



第3回

3rd Biotechnology open Seminar in Yonezawa

米沢バイオ公開セミナー

米沢でのバイオ分野の研究ははじまったばかりですが、米沢でのバイオ分野の研究はとってもホットです。そして、工学部という環境を生かして「役に立つ」研究が行われています。今回は、我々の体の主な臓器の働きや病気について勉強できるセミナーとなっておりますので是非楽しくご参加ください。



期日

平成23年**10月9日**(日)

13:30~17:15

場所

山形大学工学部
100周年記念会館セミナー室

山形県米沢市城南4丁目3-16 山形大学工学部内

※参加人数により会場が変更になる場合がございます。

心臓の働きと疾病、 G蛋白の情報伝達制御について

横浜市立大学大学院医学研究科 循環制御医学 准教授

佐藤元彦先生

肺の中の免疫細胞 肺胞マクロファージ

— 遺伝子改変マウスによるトランスレーショナルリサーチ —

山形大学内科学第一講座 病院教授・講師

柴田陽光先生

肝臓の発生・疾患における 幹細胞の役割

東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究センター・幹細胞治療分野 助教

紙谷聡英先生



主催／山形大学工学部バイオ化学工学科

本セミナー・シンポジウムは、文部科学省科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」事業の支援を受け、開催しております。

※この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

本セミナーに関するお問い合わせはこちらまで

TEL 0238-26-3180 FAX 0238-26-3177
E-mail kurotanir@yz.yamagata-u.ac.jp

【担当】山形大学工学部 バイオ化学工学科 阿部 靖之・黒谷 玲子

第3回米沢バイオ公開セミナー プログラム

日 時： 平成23年10月9日（日）

会 場： 山形大学工学部 百周年記念会館 セミナー室

13:30-13:35 開会の辞

阿部 宏之 先生

（山形大学大学院理工学研究科 バイオ化学工学専攻 教授）

13:35-14:40 心臓の働きと疫病、G蛋白の情報伝達制御について

佐藤 元彦 先生

（横浜市立大学大学院医学研究科 循環制御医学 准教授）

14:40-14:50 休憩

14:50-15:55 肺の中の免疫細胞 肺胞マクロファージ

-遺伝子改変マウスによるトランスレーショナルリサーチ-

柴田 陽光 先生

（山形大学医学部内科学第一講座 病院教授・講師）

15:55-16:05 休憩

16:05-17:10 肝臓の発生・疾患における幹細胞の役割

紙谷 聡英 先生

（東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究センター・幹細胞治療分野 助教）

18:00-20:00 懇親会 Cafe 吾妻（百周年記念会館 2F）

第3回米沢バイオ公開セミナー・懇親会（参加申込み）

【セミナー】

（日 時） 平成23年10月9日（日） 13:30～17:15

（場 所） 山形大学工学部百周年記念会館 セミナー室

（参加費） 無料

【懇親会】

（日 時） 平成23年10月9日（日） 18:00～20:00

（場 所） cafe 吾妻（百周年記念会館 2F）

（参加費） 3,000円

■申込方法： 必要事項をご記入の上、下記申込先まで FAX または E-mail にてお申込みください。

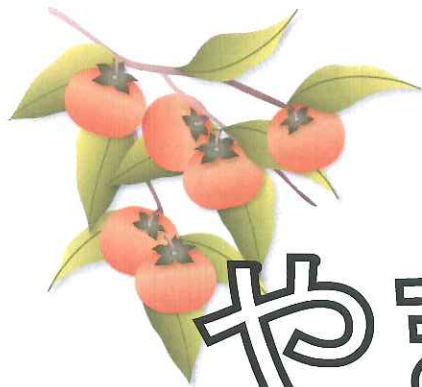
（※ご記入いただいた情報は、参加者の確認にのみ利用致します。）

■申 込 先： FAX:0238-26-3359 / E-mail : y-abe@yz.yamagata-u.ac.jp（阿部靖之）

■申込締切： 平成23年9月30日（金）

お名前：	(懇親会) 参加 不参加 ※いずれかを○で囲んでください
ご所属：	
ご住所：	
TEL.	FAX.
E-mail：	
同行者：	(懇親会) 参加 不参加
同行者：	(懇親会) 参加 不参加
同行者：	(懇親会) 参加 不参加

※恐れ入りますが、準備の都合上、できるだけ事前にお申込みくださいますようお願い致します。



やまがた夜話

テーマ **山形の元気！再発見 新山形学～地球環境問題編～**

10月11日(火)

18:30~19:30

「極地から探る地球温暖化」

鈴木 利孝氏 (山形大学理学部・教授)

10月20日(木)

18:30~19:30

「欧州と東北の自然エネルギー」

三浦 秀一氏 (東北芸術工科大学
建築・環境デザイン学科・准教授)

10月27日(木)

18:30~19:30

「リサイクル・リユース最前線」

皆川 雅朋氏 (山形大学工学部・准教授)

会場 ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分。

主催 大学コンソーシアムやまがた

お申込 電話又は、チラシ裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX、郵送、メール等で下記宛お申し込みください。

対象 高校生・学生・一般市民

入場無料 定員:50名



お申込み・お問合せ



大学コンソーシアムやまがた
ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820
E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

～スマイル・トレード10%支援～



やまがた夜話

山形の元気！再発見 新山形学～地球環境問題編～

参加申込書

必要事項を明記の上、下記宛 FAX・郵送または E-mail にてお申し込み下さい。
みなさんのご参加をお待ちしております。

申込締切日：それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加日を○で囲んでください。 平成23年10月11日(火) 講師：鈴木 利孝 氏 平成23年10月20日(木) 講師：三浦 秀一 氏 平成23年10月27日(木) 講師：皆川 雅朋 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	学生の方は学校名を記入

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。
この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に
使用するとともに、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

お申込み・お問合せ先



大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション
〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

参加企業募集

人材発掘のチャンスです!

企業PRのチャンスです!

ぜひ、ご参加おまちしております!

合同企業

2011年

11月1日 火

説明会

2日 水

会場： ゆうキャンパス・ステーション

会場 ACCESS



大学コンソーシアムやまがた加盟機関の平成24年3月卒業・修了予定学生及び卒業後1年以内（平成23年3月以降）の卒業生対象。

第1部 10:00-13:00（受付 9:30~）

第2部 13:30-16:30（受付 13:00~）

募集企業： 山形県及び東北地方の企業

主催： 大学コンソーシアムやまがた

後援： 山形労働局・山形県

参加費： 参加費として2,000円いただきます。（当日会場にて）

申込方法： 大学コンソーシアムやまがたのホームページより「11月合同企業説明会参加申込書」をダウンロードし、9月15日（木）から10月14日（金）までの間にメールにて、お申し込みいただきますようお願いいたします。ゆうキャンパスURL（<http://unicon.kj.yamagata-u.ac.jp/>）

お問合せ



大学コンソーシアムやまがた事務局（担当：石橋）

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



やまがた夜話

テーマ 山形の魅力再発見 新山形学～健やかな生活編～

9月14日(水)
18:30~19:30

「塩分と健康」
今田 恒夫氏 (山形大学医学部・准教授)

9月21日(水)
18:30~19:30

「ライフスタイルと脳と体の健康」
加藤 守匡氏 (山形県立米沢女子短期大学・准教授)

9月28日(水)
18:30~19:30

「育てて美味しく食べよう 楽しい野菜づくり」
高橋 享氏 (山形県立農業大学校・教授)

10月5日(水)
18:30~19:30

「健やかな生活のための栄養学」
楠本 健二氏 (山形大学地域教育文化学部・講師)

会場 ゆうキャンパス・ステーション (山形むらきさわビル1階) **アクセス** 山形駅東口より徒歩1分。

主催 大学コンソーシアムやまがた **お申込** 電話又は、チラシ裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX、郵送、メール等で下記宛お申し込みください。

対象 高校生・学生・一般市民
入場無料 定員:50名

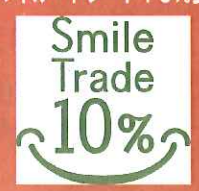


お申込み・お問合せ

 大学コンソーシアムやまがた
ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820
E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

～スマイル・トレード10%支援～



やまがた夜話

山形の魅力再発見 新山形学～健やかな生活編～

参加申込書

必要事項を明記の上、下記宛 FAX・郵送または E-mail にてお申し込み下さい。
みなさんのご参加をお待ちしております。

申込締切日：それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加日を○で囲んでください。
	平成23年 9月 14日(水) 講師：今田 恒夫 氏
	平成23年 9月 21日(水) 講師：加藤 守匡 氏
	平成23年 9月 28日(水) 講師：高橋 享 氏
平成23年10月 5日(水) 講師：楠本 健二 氏	
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	学生の方は学校名を記入

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。
この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に
使用するとともに、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

お申込み・お問合せ先



大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション
〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ポスト震災を考える

これからの社会のあり方

9月27日(火)
もし行政がマヒしたら
— 震災後の社会を考える —
人文学部 教授 高橋 和

10月4日(火)
地域福祉と地域経済
人文学部 准教授 下平裕之

10月11日(火)
ペットボトル・リサイクルからみた循環型社会
人文学部 教授 國方敬司

10月18日(火)
なぜ戦後日本人は原発を信じてきたのか
人文学部 准教授 松本邦彦

10月25日(火)
<パネルディスカッション>
これからの社会のあり方
人文学部 教授 北川 忠明
國方敬司・高橋 和・下平裕之・松本邦彦

日 時：平成23年9月27日(火)～10月25日(火)
午後6時30分～8時10分 [火曜日 計5回]

場 所：山形大学人文学部1階 104教室
対 象：一般市民・大学生・高校生 定員30名
受 講 料：一般 2,000円

大学生・高校生は無料

募集期間：平成23年9月1日(木)～9月21日(水)

■お問い合わせ先

山形大学人文学部事務室
電話：023-628-4203
E-mail：jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



- 募集人員** ◆ 一般市民・大学生・高校生 30名
- 募集期間** ◆ 平成23年9月1日(木)～9月21日(水)
- 受講料** ◆ 2,000円(大学生・高校生は無料)
- お申し込み方法** ◆ 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。
- お問い合わせ先** ◆ 〒990-8560
山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務室
TEL:023-628-4203
E-mail:jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
- 会場案内** ◆ 山形大学人文学部1階 104教室
大学正門を入れて正面の建物です。
受付は人文学部正面玄関にて行います。
- その他** ◆ **【公共交通機関ご利用のお願い】**
現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。

ポスト震災を考える

これからの社会のあり方

講座の概要

東日本大震災がもたらした甚大な被害は、誰もが体験したことのないほど痛ましいものでした。被災地では今なお、震災の爪痕が深く残っています。そうした状況の中、社会のあらゆる分野で、日本社会の有り様を見直す動きが始まっています。これからの社会はどうあるべきか？

私たちはこの問題を避けて通ることができません。しかし、問題の範囲は広く、複雑であり、複合的な視点から考えることが必要です。そこで本講座では、日々の生活に深く関わる四つの視点 ―地域コミュニティ、福祉、環境、エネルギー― を中心に、いま何が問題になっているのか解説します。その上で、望ましい社会のあり方とはどのようなものか、提言を行います。一市民としての目線から、身近な例を交え、わかりやすくお伝えします。

第1回目

もし行政がマヒしたら ― 震災後の社会を考える ―

人文学部 教授 高橋 和



3月11日の東北・北関東を襲った地震と津波はこの地域に未曾有の被害をもたらしました。その直後、人々はどのように行動したのでしょうか？行政機関がマヒしている状況のなかで、どのようにして社会の秩序を維持することができたのでしょうか。震災後の状況から、何が必要であったのか、何が不足していたのか、そして今後の社会のあり方、とりわけ自立的な社会をどのように創っていくのかについて考えます。

〈担当者の専門〉 国際関係論、EUの国境を越える自治体協力に関する研究

第2回目

地域福祉と地域経済

人文学部 准教授 下平 裕之



東北地方は全国に比べ人口減少率が大きく高齢化率も増加傾向にあり、これに伴い雇用状況の悪化や地域コミュニティの崩壊が進んでいます。今回の東日本大震災は、このような東北地方の厳しい現状がもたらす社会的衰退をさらに加速する危険性があります。このような状況下で地域においてこれからも安心して生活していくために、どのように福祉の充実を図り、経済を活性化していくかという問題を考えたいと思います。

〈担当者の専門〉 経済学史・地域資源を活用した地域活性化に関する研究

第3回目

ペットボトル・リサイクルからみた循環型社会

人文学部 教授 國方 敬司



循環型社会の形成が必要であることには、誰も異議はないと思われます。しかし、循環型社会とはどのような社会であるのか、といった点にまで考えていくと、必ずしもその内実について十分理解が及んでいるとはいえないのが現状のようです。今回は、リサイクル容器とリターナブル容器との比較を通して、現在のリサイクル政策の問題点を明らかにし、これからの社会ではどのようなあり方が望ましいのか、また自分たちにできることは何なのかを提案します。

〈担当者の専門〉 環境経済学とイギリス産業革命・農業革命史

第4回目

なぜ戦後日本人は原発を信じてきたのか



人文学部 准教授 松本邦彦

戦後日本人は核エネルギーを希望の火としてきましたが、「3.11」はそこに大きな疑問符を付けることになりました。しかし日本人の「核」肯定論は非常に強固であり、「進歩と発展」に対して本来は懐疑的であるはずの「保守」の人々が推進派となってきたほどです。自分の隣にあるのは困るが、遠くにあるのはかまわないという意識だけではこの状況は説明できません。戦後日本のエネルギー政策を国内の思想状況に位置づけながら、「3.11」後を展望したいと思えます。

〈担当者の専門〉 日本外交と政治について

10月18日 火

第5回目

〈パネルディスカッション〉
これからの社会のあり方



人文学部 教授 北川忠明

國方敬司・高橋 和・下平裕之・松本邦彦

東日本大震災は、中央と地方の関係、エネルギー政策、経済・産業構造等をはじめ、第二次世界大戦後日本の政治・経済・社会の全体的なモデル・チェンジを迫る大きな節目となるものです。このパネルディスカッションでは、本公開講座の4人の講師をパネリストとして、自立・分散型の地域社会の創生という観点から提言を行い、参加者の皆さんとともに、ポスト震災社会の諸課題をめぐって議論します。

〈担当者の専門〉 政治思想、とくにフランス共和主義思想の研究

10月25日 火

「い」から切り離してお出してください。

02		払込取扱票										通常払込料金 加入者負担									
口座記号番号												金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
0 2 2 6 0 7												9 2 4 7 8						2	0	0	0
加入者名 国立大学法人山形大学												料金	備考								
※「ポスト震災を考えるーこれからの社会のあり方」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部) ○職業をお書きください。() ○年齢をお書きください。() ○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方は ご記入ください。() ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、 第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー 棟のご案内を本学からお送りする場合がございます。□承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います)												日附印									
おとこ(郵便番号)												様									
※おなまえ												日附印									
(電話番号)												日附印									
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)												日附印									
これより下部には何も記入しないでください。												日附印									

切り取らないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座番号	0 2 2 6 0 7	通常払込 料金加入 者負担						
	9 2 4 7 8							
加入者名	国立大学法人山形大学							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
					2	0	0	0
おなまえ	※							
ご依頼人	様							
料金	日附印							
備考	日附印							

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押しつけてください。

開所記念式典 記念講演会

山形大学工学部が創立100周年を迎えた2010年12月末、工学部キャンパス内に新たに5階建て約5700平方メートルの有機エレクトロニクス研究センターが竣工しました。新しい100年に向け、有機エレクトロニクスの世界的研究拠点形成を目指し、世界から集結した卓越研究者からなるドリームチームを中心に研究を進めています。

日時

平成23年 **9月30日(金)** 10:30~18:00

参加費

無料

午前 10時30分~ 開所記念式典

【会場：山形大学工学部 大示範教室】

10:30~10:35 挨拶 山形大学長

10:35~10:45 式辞 山形大学工学部長

10:45~11:15 来賓祝辞

文部科学省 高等教育局長 磯田 文雄 氏
衆議院議員 近藤 洋介 氏
山形県知事 吉村美栄子 氏
米沢市長 安部三十郎 氏

午前 11時30分~ テープカット・内覧会

【会場：有機エレクトロニクス研究センター】

※内覧会終了後、各自でポスターセッション会場までお越し下さい
※内覧会では、低炭素研究ネットワークのサテライト拠点である山形大学の「ナノ加工技術を基盤としたスマート有機デバイス研究拠点」のオープンラボを兼ね、低炭素研究ネットワークの研究設備を公開します

午後 12時30分~ ポスターセッション・ 有機エレクトロニクス製品、試作品展示

【会場：上杉城史苑】

※ポスターセッション会場では、軽食を準備しています
※出展機関は案内URLをご覧ください



●お申込方法は裏面をご覧ください（事前のお申込が必要です）

午後 14時00分~ 記念講演会

【会場：伝国の杜】

14:00~14:05 開会挨拶 山形大学 理事・副学長

14:05~14:15 祝辞 科学技術振興機構 理事長 北澤 宏一 氏

14:15~14:30 有機エレクトロニクス研究センター概要・ドリームチーム紹介
有機エレクトロニクス研究センター長 大場 好弘

14:30~15:15 記念講演

山形大学の有機エレクトロニクス
国際研究拠点化へ期待する

カリフォルニア大学サンタバーバラ校 教授
山形大学 特任教授 中村 修二 氏

15:15~15:45 特別講演

“Progress in organic heterojunction devices”

ロチェスター大学 教授
山形大学 連携卓越研究教授 C.W. Tang 氏

15:45~16:15 特別講演

“Recent Progress of Organic Solar Cell in Tandem Configurations”

カリフォルニア大学ロサンゼルス校 教授
山形大学 連携卓越研究教授 Y. Yang 氏

16:15~16:30 休憩

16:30~18:00 研究講演

“Organic Photovoltaic Solar Cells”

山形大学 特別連携卓越研究教授 N.S.Sariciftci

有機トランジスタの研究動向と応用展開

山形大学 卓越研究教授 時任 静士

有機EL照明の最近の進展

山形大学 卓越研究教授 城戸 淳二

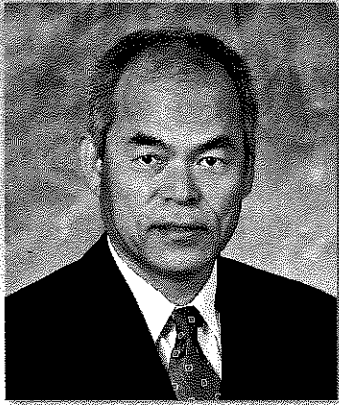
18:00 閉会

※記念講演会の開演前・休憩時間に有機エレクトロニクス研究センターのプロモーションビデオを上映します

右上の有機ELシャンデリアは(財)山形県産業技術振興機構の所有物です

主催：国立大学法人山形大学 共催：独立行政法人科学技術振興機構
後援：(財)山形県産業技術振興機構・米沢市・(社)米沢工業会

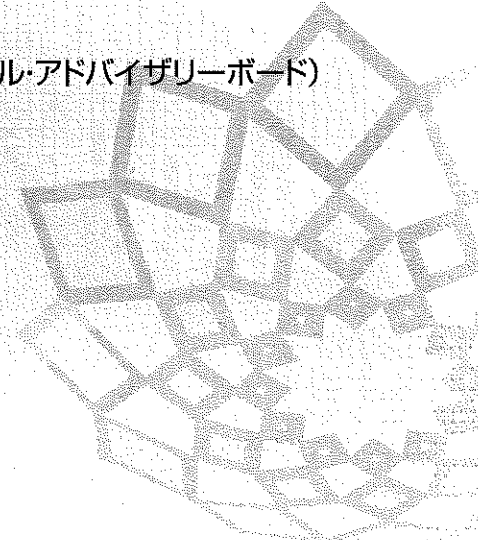
招待講演者紹介 (有機エレクトロニクス研究センター インターナショナル・アドバイザリーボード)



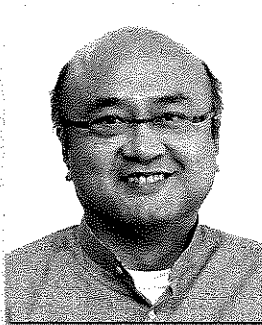
カリフォルニア大学サンタバーバラ校 教授
山形大学 特任教授

中村 修二 氏

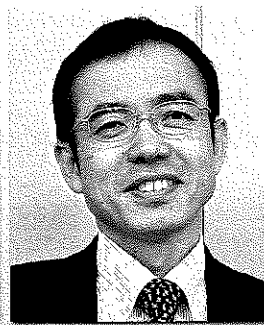
窒化物系材料を使用した発光デバイスの研究開発に先駆的に取り組み、1993年に青色、1995年に緑色のPN接合型高輝度発光ダイオードの製品化に世界で初めて成功。



地域卓越研究者戦略的結集プログラム (独立行政法人科学技術振興機構)
卓越研究教授群 (ドリームチーム)



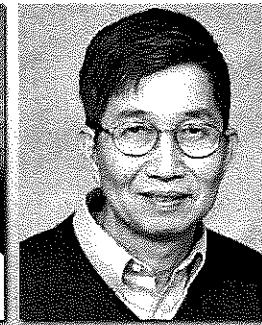
山形大学
卓越研究教授
城戸 淳二



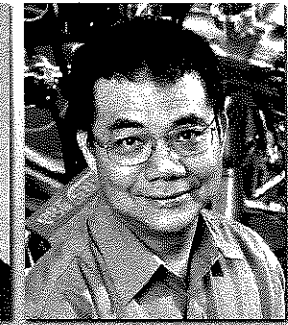
山形大学
卓越研究教授
時任 静士



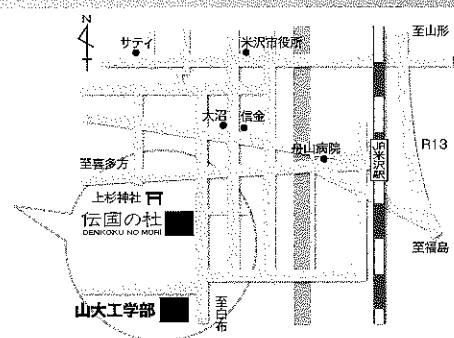
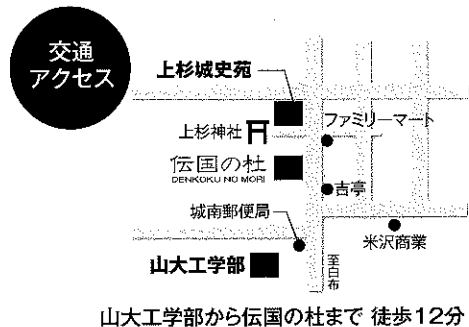
山形大学
特別連携卓越研究教授
N.S. サリチフチ
(ヨハネス・ケプラー大学)



山形大学
連携卓越研究教授
G.W. タン
(ロチェスター大学)



山形大学
連携卓越研究教授
Y. ヤン
(カリフォルニア大学サンディエゴ校)



◆JR米沢駅から2km 上杉神社隣接
[タクシーで約10分]
[市民バス、米沢市街地循環 (200円)
上杉神社前下車]
※駐車場が大変混雑する恐れがあります。
なるべく公共機関をご利用ください。

【申込受付期間】平成23年7月30日(土)~9月26日(月) 定員となり次第、受付終了とさせていただきます。

↓こちらからお申込みください

申込URL

<http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/info/form110930/form-1.php>

上記URLからのお申し込みが出来ない方は、FAXにてご連絡ください。

▶携帯からの申込みはこちら



参加申込書 9月30日 山形大学 有機エレクトロニクス研究センター「開所記念式典・記念講演会」

参加申込書	所属名	部署		TEL
	氏名	フリガナ	所在地	FAX
	フリガナ	〒		E-mail
	所在地			

●申込にチェック……開所記念式典 内覧会 ポスターセッション 記念講演会

— 個人情報取り扱いについて — ご登録頂いた情報は、参加者の確認にのみ利用させていただきます。

●お問い合わせ先: 山形大学有機エレクトロニクス研究センター 研究プロジェクト支援室

TEL/0238-26-3590 FAX/0238-26-3240 E-mail/kouenkai@yz.yamagata-u.ac.jp

※この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



【共催】

国際事業化研究センターまちづくり談話会
もっとみらいコンソーシアム研究会

中国における事業展開と資金調達

株式会社日本政策投資銀行 上嶋 英夫氏

■国際統括部 中国チーム課長

日時 : 9月30日(金) 14:00~15:30
場所 : ものづくり・ひとづくりキャンパス (街中サテライト)

グローバル化の急速な伸長と国内市場の停滞・規模縮小により、日本企業はいまや世界を視野に事業を展開することが欠かせなくなっています。昨年、日本を抜いて世界第2位の経済規模にまで成長をした隣国「中国」は、これからも引き続き高い経済成長率を維持することが見込まれており、近い将来にアメリカを抜いて世界第1位の経済大国になることが確実視されています。

経済・社会環境の変化の影響を受け、日本から中国に進出する企業が相次ぐなかで、中国に事業展開をする目的は何であるのか、販路開拓や労務管理等の課題はなにか、資金調達の方法はどのようになっているのかということ、既に進出している日系企業の事例や株式会社日本政策投資銀行の取り組みを紹介しながら講演します。

申し込み先: “もっとみらい”コンソーシアム事務局(電話:0238-26-3622)

山形の魅力 再発見

パート9

山形大学都市・地域学研究所 所長
人文学部 教授 松尾 剛次

募集締切

受講料 (3回分)

9月27日(火) 6,000円(バス代込)

募集人員

一般市民・大学生・高校生 定員30名

10月1日(土) <時間>9:00 ~ 17:00
<場所>山形大学農学部演習林(鶴岡バス移動)

「山形のブナ林について」

農学部 教授 野堀 嘉裕

「再生可能エネルギーの生産とバイオマスについて」

農学部 教授 上木 厚子

10月8日(土) <時間>13:00 ~ 16:10
<場所>山形大学人文学部

「最上義光をめぐる ~新発見の文書を紹介しつつ~」

人文学部 教授 松尾 剛次

「山形県地方自治体の財政力」

人文学部 教授 貝山 道博

10月22日(土) <時間>9:00 ~ 16:00
<場所>天童市内(バス移動)

「織田信長 一本能寺の変を中心にして」

人文学部 教授 松尾 剛次

(全3回)

申込方法

TEL・FAX・E-mailのいずれかでお申込み下さい。(受講通知書および受講料振込書を郵送致します。)

問合せ・申込先

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12 山形大学人文学部 松尾研究室:青木
TEL/FAX:023-628-4917 E-mail:kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp
または山形大学人文学部総務係 TEL:023-628-4203



10月1日(土)

山形のブナ林について

農学部 教授 野堀 嘉裕

ブナ林は北海道南部から鹿児島県まで日本に広く分布しているが、その多くは東日本に集中している。中でも山形県はブナ林分布の中心であり低地から高山に至る広範囲にブナ林が生育できる環境にある。山形大学農学部附属フィールド科学センター上名川演習林はまさにブナ林の中心にあたる。この地域は、歴史的にみてブナ原生林とナラを主とする里山、それにスギ人工林がある。今回はこの地域で自然と人間の調和を実感してみよう。

再生可能エネルギーの生産とバイオマスについて

農学部 教授 上木 厚子

石油・石炭・天然ガス等の化石燃料の利用が原因とされる大気中二酸化炭素濃度の増加による気候変動(温暖化)が懸念されてきていますが、一方これらの化石燃料はいずれ枯渇すると考えられます。本講座では、環境に負担を与えず、使っても枯渇しない風力や太陽光などの「再生可能エネルギー」導入の国際的状況と、再生可能エネルギーの一つとして位置づけられるバイオマス(生物資源)のエネルギーへの変換法について概説します。

10月8日(土)

最上義光をめぐる ～新発見の文書を紹介しつつ～

人文学部 教授 松尾 剛次

最上義光は山形藩 57 万石の初代であり、山形県の基礎を築いた戦国大名である。2014 年は没後 400 年にあたり、最上義光に注目が集まりつつある。本講演では、本年 1 月に新発見した 2 点の最上義光文書を紹介しつつ、義光による山形・庄内支配の実態に迫ってみたい。

山形県地方自治体の財政力 ～真の地域主権とは何か?～

人文学部 教授 貝山 道博

地方主権が叫ばれている今日、山形県の市町村はそれを確立するだけの財政基盤をもっているのだろうか。現在どの市町村も多くの財源を国や県の補助金に頼っている中で、その実現の可能性は果たしてあるのだろうか。こうした観点から、本講座では、山形県内主要市町村の近年の財政状況を比較し、問題点とその解決策を探り、真の地域主権とは何かについて考える。

10月22日(土)

織田信長 一本能寺の変を中心にして

人文学部 教授 松尾 剛次

天童市は織田藩の支配地で、織田信長と無縁ではありません。本講演では、信長がなぜ本能寺で死んだのかを中心に、本能寺のなぞに迫ってみます。

正解への道標～ミチシルベ～ 大学生による大学受験講座！

講師紹介



山形大学医学部所属の学生。塾講師、予備校のチューターの経験を持ち、現在も家庭教師で数学と化学の指導にあたっている。趣味は映画観賞、音楽鑑賞、スポーツ全般、WEBデザイン。



日程:2011年10月2日(日)9:00～
場所:ゆうキャンパスステーション
(ファミマ山形駅前隣)
講座内容:センター試験数学+α
対象:大学受験生

☆お申込み・お問い合わせ☆

山形大学 岡田瑞央

電話:080-1853-7857

メール:okaju1115@docomo.ne.jp



ゆうキャンパス

大学コンソーシアムやまがた

山形大学特別プロジェクト「井上ひさしの東北」
2011年度公開講座

「井上ひさしの世界」 受講生募集

- | | | | |
|-----------|------|--------------|--------------------|
| 10月12日(水) | 熊谷真一 | 株式会社シベール特別顧問 | 井上ひさしと私の物語(99%の真実) |
| 10月19日(水) | 山本陽史 | 山形大学基盤教育院教授 | 井上ひさしー日本語を生きる |
| 10月26日(水) | 阿部宏慈 | 山形大学人文学部教授 | 井上ひさしの青春 |
| 11月 2日(水) | 森岡卓司 | 山形大学人文学部准教授 | 文学史の中の井上ひさし |

と き : 2011年10月12日(水) ~ 11月2日(水)
毎週水曜日 全4回 各回18:30~19:30
と ころ : 大学コンソーシアムやまがた
ゆうキャンパス・ステーション (場所は下記地図参照)
電 話 023-628-4842

聴講料 : 無料

定 員 : 各回とも40名

- ※1回ごとの聴講もできます。
- ※どなたでも受講いただけます。
- ※事前に予約された方を優先しますが、定員に余裕があれば当日予約なくお越しになっても聴講できます。



お問合せ・お申し込み :

山形大学渉外部社会連携・図書・情報課

電 話 023-628-4016

F A X 023-628-4849

電子メール k-tojyoki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※お申し込みの際はお名前・聴講希望日をお知らせください。

生物の多様性を考える。

参加申込書 土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用

●期日 2011.10/15.Sat
9:00~16:00(受付は8:30より開始)

●会場 山形大学農学部3号館

●対象 高校生/定員20名(先着順)

●参加費 無料(昼食付)

●申込締切日 2011.9.16(金)

●参加ご希望の方は9月16日までに、E-mail、FAX、電話で下記お問い合わせ・お申し込み先までお申込ください。

生物の多様性は、進化および生物圏における生命の維持のため重要ですが、すべての生物(微生物、植物、動物)は、個々に生きているわけではありません。それぞれの生物種は、他の生物種とともに一定の生物圏の中に組み込まれて生存競争のもとで相互依存的に生息しています。そこで本プログラムでは、最初に土壌微生物、植物、昆虫を対象としたインドネシアと日本で実施した研究成果を紹介します。次に、土壌微生物、植物、昆虫を対象としたそれぞれの実習を行い、農学のおもしろさを広くお伝えします。どうぞ、お気軽にご参加ください。

未来博士号が授与される 高校生対象特別プログラム

- 講師/安田弘法教授
西澤隆教授/俵谷圭太郎教授
村山秀樹教授/佐藤智准教授
- 講義/生物の多様性を考える
~土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用~
- 実験1/土壌微生物を観察する
~菌根菌の役割~
- 実験2/植物を分析する
~ポリフェノールの役割~
- 実験3/昆虫を観察する
~植食者と捕食者の関係~
- なんでも質問コーナー

主催:山形大学農学部

●お問い合わせ・お申込み先/山形大学農学部企画広報室
山形県鶴岡市若葉町1-23 〒997-8555 tel.0235-28-2910 fax.0235-28-2812
E-mail:nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp





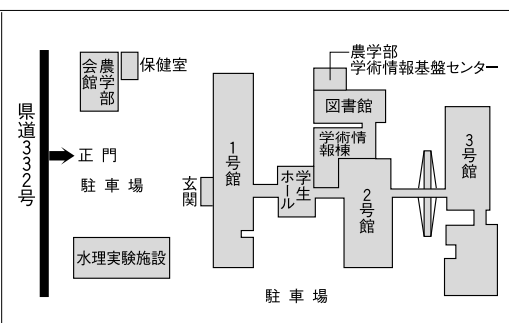
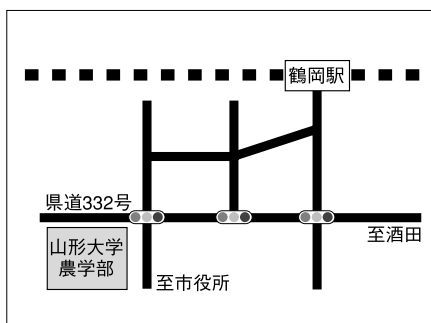
未来博士号が授与される、高校生対象の特別プログラム

生物の多様性を考える

●当日のスケジュール

土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用

- 8:30~9:00 受付(3号館1F)
- 9:00~9:15 開講式
- 9:15~10:00 講義/生物の多様性を考える
……土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用
- 10:00~10:15 休憩
- 10:15~11:35 実験1/土壌微生物を観察する
……菌根菌の役割
- 11:35~12:35 昼食(教員、学生、参加者との交流)
- 12:35~13:55 実験2/植物を分析する
……ポリフェノールの役割
- 13:55~14:25 休憩(クッキータイム)
- 14:25~15:45 実験3/昆虫を観察する
……植食者と捕食者の関係
- 15:45~16:00 修了式(未来博士号授与)



この申し込み用紙に必要事項をご記入の上、ファックスでお申し込みください。

fax.0235-28-2812

参加申込書

平成 年 月 日

●お名前(フリガナ)		□男性 □女性
●ご住所 〒 <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>		
●TEL () () ()	●FAX () () ()	●メールアドレス
●学校名	●年齢 () 才	●保護者同意の有無 □同意あり □同意なし
●このプログラムに期待すること		

●ご記入いただいた個人情報については、本事業に関する準備、連絡以外には使用いたしません。●不明な点などがありましたら、下記までご連絡ください。

〈お問い合わせ・お申込み先〉山形大学農学部企画広報室
山形県鶴岡市若葉町1-23 〒997-8555 tel.0235-28-2910 fax.0235-28-2812
E-mail.nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ときめき、ひらめき、サイエンス ●下記のホームページからお申し込みができます。

<http://www.jsps.go.jp/hirameki>



リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

二〇二一年度

山形大学附属博物館公開講座

掛軸のい・ら・は

～表装から画題まで～



杉浦雲溪／高砂図

主催／山形大学附属博物館

募集人員

一般市民、大学生、高校生 **30**名

受講料

2,000円 (資料代含む)

申込期間

9月12日(月) ~ 10月14日(金)

申込方法

下の「払込取扱票」に記入の上、郵便局で振り込みの手続きをして下さい。
通信欄に職業、年齢の記入をお願いします。先着順に受け付け、受講申込受付証をお送りします。下記の博物館事務室（小白川図書館3階）に直接ご来館の上、お申し込みいただくこともできます。

問い合わせ先

山形大学附属博物館

990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL/FAX **023-628-4930**

E-mail hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ここから切り離して郵便局にお出してください。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

3万円以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

掛軸のい・ろ・は

山形大学附属博物館には郷土画家の作品を中心に40点の軸物が所蔵されています。平成23年度の特別展では、軸物の中から選りすぐりの逸品を展示する企画を考えています。

そこで本講座では特別展と連動し、掛軸の保存方法や取り扱い方、掛軸の鑑賞の仕方、そして特別展に並ぶ作品を描きあげた画家達についての講義を通し、様々な角度から「掛軸」の魅力を探っていくことを目的としています。

講師にはベテランの表具師の方をお招きし、普段あまり気にとめることのない表装の基礎知識や簡単な実演のほか、日本画を専門にする講師の方々からは、作者の思いもよらぬエピソードが語られるやもしれません。

受講後、受講者の方々が自宅に眠っている掛軸を取り出して愛でていただけるよう、また、各種展覧会で軸物の鑑賞がもっと楽しくなりますよう、少しでもお手伝いできれば幸いです。

第1回

10/15(土)

13:30~15:10

「掛軸を楽しむ」

講師/山形大学基盤教育院 講師

佐藤 琴

15:20~17:00

「長谷川コレクションについて」

講師/山形美術館 主任学芸員

月本 寿彦

第2回

10/22(土)

13:30~15:10

「祝賀の掛軸 -高砂図を中心として-」

講師/山形大学基盤教育院 講師

佐藤 琴

15:20~17:00

「掛軸になった西洋画」

講師/山形大学地域教育文化学部 准教授

小林 俊介

第3回

10/29(土)

13:30~17:00

「表装のい・ろ・は

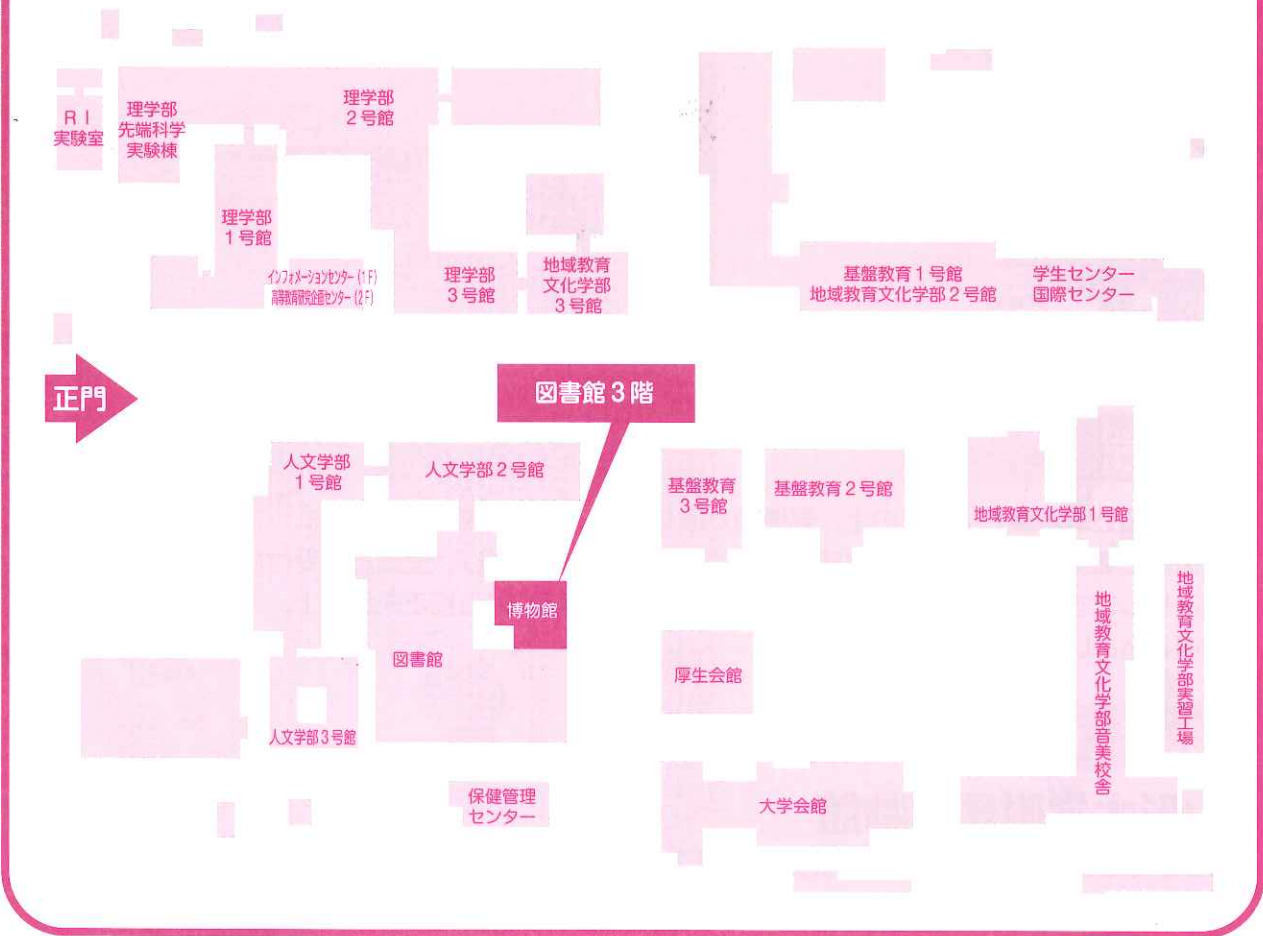
-掛軸の取り扱いから裏打ちのやり方まで-

講師/土屋光雲堂店主

土屋 威夫

会場案内図

＜バス＞ JR山形駅東口バス停から県庁行きバスで南高前下車。
徒歩約5分。



公開講座当日は、なるべく公共交通機関をご利用下さい

払込取扱票

02	口座記号番号										通常払込料金加入者負担								
0	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8	金額	千	百	十	万	千	百	十	円
																2	0	0	0

加入者名	国立大学法人山形大学										料金	備考
------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	----

「掛軸のい・ろ・は」申込書 附属博物館

※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。

○職業をお書きください。()

○年齢をお書きください。()

○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方はご記入ください。()

※個人情報について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー等のご案内を本学からお送りする場合がございます。□承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います)

おとこ (郵便番号)											日附印
※	おなまえ										様
ご依頼人											日附印
料金											日附印
備考											

「」から切り離して郵便局へお出してください。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)

これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座番号	0	2	2	6	0	7	通常払込料金加入者負担	
加入者名	国立大学法人山形大学							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
					2	0	0	0
ご依頼人	おなまえ							様
料金								日附印
備考								

切り取らないでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。